

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2012 年 12 月 13 日(13.12.2012)



(10) 国際公開番号
WO 2012/169378 A1

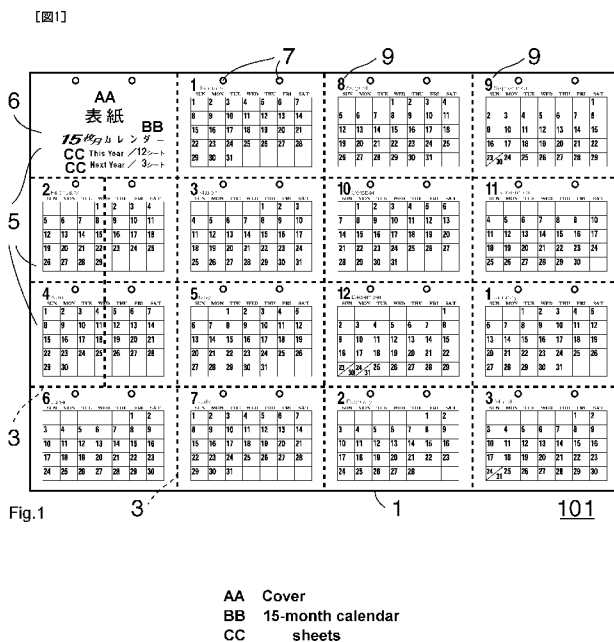
- (51) 国際特許分類:
B42D 5/04 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2012/063584
- (22) 国際出願日: 2012 年 5 月 28 日(28.05.2012)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2011-128833 2011 年 6 月 9 日(09.06.2011) JP
特願 2012-010559 2012 年 1 月 22 日(22.01.2012) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社カレンダー広告(CALENDAR KOKOKU CO., LTD.) [JP/JP]; 〒5340024 大阪府大阪市都島区東野田町一丁目 2 1 番 2 0 号 Osaka (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 平原 豊 (HIRAHARA, Yutaka) [KR/JP]; 〒5340024 大阪府大阪市都島区東野田町一丁目 2 1 番 2 0 号 株式会社カレンダー広告内 Osaka (JP).
- (74) 代理人: 福本 将彦(FUKUMOTO, Masahiko); 〒6191152 京都府木津川市加茂町里中門伝 1 1 7 - 2 0 5 Kyoto (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: PRINTED LEAF, BOUND LEAF, LEAF-SUPPLYING METHOD, FOLDED PRINTED LEAF, AND BOOK

(54) 発明の名称: リーフ印刷物、綴じリーフ、リーフ提供方法、折り畳みリーフ印刷物、及び本



(57) Abstract: On a rectangular sheet (1), detachment perforations (3) are formed lengthwise and crosswise to divide the whole equally into sixteen rectangular leaves (5). Binder holes (7) are formed at two analogous spots along one mutually corresponding side of each of the sixteen leaves (5). Each of the surfaces of the sixteen leaves (5) is printed with the same positioning with respect to the one mutually corresponding side. On fifteen of the sixteen leaves (5), a monthly calendar for January to December of the specified year and January to March of the following year is printed, thereby reducing the cost of producing multiple printed leaves.

(57) 要約: 矩形のシート 1 には、全体を 16 枚の矩形のリーフ 5 に等分するように、切り離し用のミシ目の穿孔 3 が縦横に形成されている。16 枚のリーフ 5 には、互いに対応する一辺に沿った、互いに対応する 2 箇所に、それぞれ綴じ孔 7 が形成されている。16 枚のリーフ 5 の表面には、互いに対応する一辺に対して互いに同一姿勢で、それぞれ印刷が施されている。16 枚のリーフ 5 のうち、15 枚には、所定年の 1 月から 12 月までの月表と、翌年の 1 月から 3 月までの月表が印刷されている。それにより、印刷が施された複数のリーフの製造コストが節減される。

明 細 書

発明の名称：

リーフ印刷物、綴じリーフ、リーフ提供方法、折り畳みリーフ印刷物、及び本

技術分野

[0001] 本発明は、卓上リーフベースへの利用に好適なリーフ印刷物、綴じリーフ、リーフ提供方法、リーフ印刷物が折り畳まれてなる折り畳みリーフ印刷物、及びリーフ印刷物が少なくとも一部に綴じられている本に関する。

背景技術

[0002] カレンダーの月表等が印刷された１組（例えば１２箇月分）のリーフの一辺に沿って綴じ孔が形成されたものを、バイндаにより差し替え可能に保持することにより、卓上カレンダーとして利用することを可能にする卓上リーフベース（同一出願人による、例えば特許文献１）、及び壁掛カレンダーとして利用することを可能にする磁石付きバイнда（同一出願人による、例えば特許文献２）が知られている。図１０は、特許文献１に開示される卓上リーフベースに、月表が印刷されたリーフを保持させてなる卓上カレンダーの外観を示す斜視図である。図１０Ａに示すように、１組（例えば１２枚）のリーフ７５には、異なる月の月表が印刷されている。月表には月数字７９が含まれる。また、各リーフ７５には、その上辺に沿った２箇所に綴じ孔７７が形成されている。図１０Ｂに示すように、卓上リーフベース２０１は、側面視略台形のベース本体７０と、当該ベース本体７０の天面に取り付けられたリングバイнда７１とを有している。リングバイнда７１のリングを開いて、１組のリーフ７５の綴じ孔７７をリングバイнда７１の２本のリングに通し、その後リングを閉じることにより、リーフ７５をリングバイнда７１に吊り下げることができる。このようにして、年ごとに１組の月表の差し替えが可能な卓上カレンダーが実現する。月数字７９が表示する月が経過するなどにより、正面に現れているリーフ７５の月表が無用になると、当該リー

フ 7 5 を卓上リーフベース 2 0 1 の背面へめくることにより、次の月の月表を表示することができる。

[0003] 図 1 1 は、特許文献 2 に開示される磁石付きバイндаに、月表が印刷された 1 組のリーフを保持させてなる壁掛カレンダーの外観を示す斜視図である。図 1 1 A に示すように、1 組（例えば 1 2 枚）のリーフ 8 5 には、異なる月の月表が印刷されている。月表には月数字 8 9 が含まれる。また、各リーフ 8 5 には、その上辺に沿った 2 箇所に綴じ孔 8 7 が形成されている。図 1 1 B に示すように、磁石付きバイнда 2 0 2 は、板状のベース部材 8 0 と、当該ベース部材 8 0 の表面に取り付けられたリングバイнда 8 1 とを有している。磁石付きバイнда 2 0 2 は更に、裏面を鉄壁等の磁性体壁に吸着させる磁石（図示略）が取り付けられている。それにより、磁石付きバイнда 2 0 2 は磁性体壁に着脱可能に保持することが可能となっている。また、ベース部材 8 0 には吊りひも 8 2 が取り付けられており、当該吊りひも 8 2 を用いて壁の釘などに磁石付きバイнда 2 0 2 を吊り下げることにも可能となっている。リングバイнда 8 1 のリングを開いて、1 組のリーフ 8 5 の綴じ孔 8 7 をリングバイнда 8 1 の 2 本のリングに通し、その後リングを閉じることにより、リーフ 8 5 をリングバイнда 8 1 に吊り下げることができる。このようにして、年ごとに新たな 1 組の月表の装着が可能な壁掛カレンダーが実現する。月数字 8 9 が表示する月が経過するなどにより、正面に現れているリーフ 8 9 の月表が無用になると、当該リーフ 8 9 をリングバイнда 8 1 のリングから除去することにより、次の月の月表を表示することができる。

[0004] このように、月表が印刷され、かつ綴じ孔 7 7、8 7 が形成された 1 組のリーフ 7 5、8 5 のみを、例えば広告媒体として顧客あるいは潜在的顧客に毎年送付することにより、広告主は低コストで、顧客等とのつながりを維持することができる。しかし、例えば 1 2 枚一組のリーフ 7 5、8 5 を製造するコスト自体は、永年来の卓上カレンダーの製造過程でリーフを製造するのに要したコストと変わりがない、という問題点があった。

先行技術文献

特許文献

[0005] 特許文献1：特許第4 6 2 8 4 8 0号公報

特許文献2：特許第4 7 0 9 9 4 0号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0006] 本発明は上記の問題点に鑑みてなされたもので、印刷が施された複数のリーフの製造コストを節減するリーフ印刷物を提供することを目的とする。本発明はさらに、当該リーフ印刷物から作られる綴じリーフを提供することを目的とする。本発明はさらに、前記リーフ印刷物からリーフを製造し顧客へ提供するリーフ提供方法、リーフ印刷物が折り畳まれてなる折り畳みリーフ印刷物、及びリーフ印刷物が少なくとも一部に綴じられている本を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0007] 上記課題を解決し上記目的を達成するために、本発明のうち第1の態様に係るものは、矩形のシート状のリーフ印刷物であって、全体を4枚以上の矩形のリーフに等分するように、切り離し用のミシン目の穿孔が縦横に形成されている。前記4枚以上のリーフのうちの複数のリーフには、互いに対応する一辺に沿った、互いに対応する複数部位に、それぞれ綴じ孔が形成されている。前記複数のリーフには、共通する一方主面に、互いに対応する前記一辺に対して互いに同一姿勢で、それぞれ印刷が施されている。さらに、前記複数のリーフには、共通する他方主面にも、それぞれ印刷が施されており、前記複数のリーフの各々に施されている前記印刷は、前記一方主面と前記他方主面との間で、互いに同一姿勢である。

[0008] この構成によれば、ミシン目の穿孔に沿ってリーフを切り離し、例えばバイндаを有する卓上リーフベースの複数のバイндаリングを、リーフの複数の綴じ孔にそれぞれ通すことにより、切り離された4枚以上のリーフのうちの複数のリーフを、卓上リーフベースに差し替え可能に吊り下げて使用に供

することができる。リーフ印刷物は、使用に供される大きさの4倍以上の大きさではあるが、4倍以上の大きさであっても略同一コストで印刷、ミシン目の穿孔、及び綴じ孔の形成が可能である。それゆえ、所定枚数のリーフを作製するのに要するコストの節減を図ることができる。また、シートが過大である場合においても、ミシン目の穿孔に沿って切り離すことなく、ミシン目の穿孔に沿って単に折り畳むことにより、面積を小さくして送料の低い郵送等により、リーフ印刷物を利用者の手元に届けることが可能となる。ミシン目の穿孔に沿ってリーフを切り離し、切り離されたリーフを重ね合わせる作業に比べると、単に折り畳む作業は、機械によっても、手作業によっても、より迅速かつ低コストで実行することができる。また、送付のための封筒等への梱包作業においても、重ね合わされたリーフよりも、折り畳まれたリーフを梱包する方が容易であり、作業性が高いものとなる。シートが過大ではない場合には、折り畳むこともなく、そのまま送料の低廉な郵送等を利用して送付することができる。

[0009] 本発明のうち第2の態様に係るものは綴じリーフであって、第1の態様に係るリーフ印刷物から、前記ミシン目の穿孔に沿って切り離されたリーフが、前記一辺が互いに揃うように、開閉可能なバイндаに綴じられてなるものである。

[0010] 本発明のうち第3の態様に係るものは、リーフ提供方法であって、第1の態様にかかるリーフ印刷物を製造する工程と、前記リーフ印刷物から前記ミシン目に沿って前記リーフ毎に切り離す工程と、切り離された前記リーフを重ねて梱包する工程と、梱包された前記リーフを顧客へ輸送する工程と、を備えるものである。

[0011] 本発明のうち第4の態様に係るものは、第1の態様に係るリーフ印刷物が折り畳まれてなる折り畳みリーフ印刷物であって、前記矩形のリーフ印刷物は帯長状である。そして、前記切り離し用のミシン目の穿孔のうち、前記帯長状のリーフ印刷物の短手方向に延びるものは、前記帯長状のリーフ印刷物の長手方向に2本以上並んでいる。さらに、前記リーフ印刷物は、前記長手

方向に2本以上並んだミシン目の穿孔を折り目として、つづら折りに折り畳まれている。

[0012] 本発明のうち第5の態様に係るものは、複数葉を綴じ込んだ本であって、前記複数葉のうちの少なくとも1葉は、第1の態様に係るリーフ印刷物を含んでおり、当該リーフ印刷物は、切り離し用のミシン目の穿孔によって、前記本の残余の部分から切り離し可能である。

[0013] 本発明のうち第6の態様に係るものは、複数葉を綴じ込んだ本であって、前記複数葉のうちの少なくとも1葉は、切り離し用のミシン目の穿孔によって切り離し可能な矩形のシート状のリーフ印刷物を含んでいる。そして、当該リーフ印刷物は、全体を2枚以上の矩形のリーフに等分するように、切り離し用のミシン目の穿孔が縦、横、又は縦横に形成されている。前記2枚以上のリーフのうちの複数のリーフには、互いに対応する一辺に沿った、互いに対応する複数部位に、それぞれ綴じ孔が形成されている。前記複数のリーフには、共通する一方主面に、互いに対応する前記一辺に対して互いに同一姿勢で、それぞれ印刷が施されている。前記複数のリーフには、共通する他方主面にも、それぞれ印刷が施されている。さらに、前記複数のリーフの各々に施されている前記印刷は、前記一方主面と前記他方主面との間で、互いに同一姿勢である。

[0014] 本発明のうち第7の態様に係るものは、複数葉を綴じ込んだ本であって、前記複数葉のうちの少なくとも1葉は、切り離し用のミシン目の穿孔によって切り離し可能な矩形のシート状のリーフ印刷物を含んでいる。そして、当該リーフ印刷物には、一辺に沿った複数部位に綴じ孔が形成されており、当該リーフ印刷物には、両主面に互いに同一姿勢で印刷が施されている。

発明の効果

[0015] 以上のように本発明のリーフ印刷物によれば、印刷が施された複数のリーフの製造コストを節減することができる。また、本発明の綴じリーフ及び本発明のリーフ提供方法によれば、本発明のリーフ印刷物を用いることから、その製造コストを節減することができる。さらに、本発明の折り畳みリーフ

印刷物は、切り離し用のミシン目の穿孔に沿って分離することなく、サイズを小さくすることを可能にする。また、本発明の本は、綴じられているリーフ印刷物に含まれるリーフをユーザが切り離して使用することを可能にする。

図面の簡単な説明

[0016] [図1]図 1 は、本発明の実施の形態 1 によるリーフ印刷物の表面を示す平面図である。

[図2]図 2 は、図 1 のリーフ印刷物の裏面を示す背面図である。

[図3]図 3 は、図 1 のリーフ印刷部の郵便による搬送形態を例示する外観斜視図である。

[図4]図 4 は、図 1 のリーフ印刷物の使用形態を例示する外観斜視図であり、図 4 A は正面側を示す斜視図であり、図 4 B は背面側を示す斜視図である。

[図5]図 5 は、本発明の実施の形態 2 によるリーフ印刷物を示す図であり、図 5 A は表面を示す平面図であり、図 5 B は裏面を示す背面図であり、図 5 C は裏面の別の例を示す背面図である。

[図6]図 6 は、本発明の実施の形態 3 によるリーフ印刷物を示す図であり、図 6 A は表面を示す平面図であり、図 6 B は裏面を示す背面図である。

[図7]図 7 は、図 6 のリーフ印刷物の使用形態を例示する外観斜視図であり、図 7 A は正面側から見た斜視図であり、図 7 B は背面側から見た斜視図である。

[図8]図 8 は、本発明の実施の形態 4 によるリーフ印刷物を示す図であり、図 8 A は切り離し後の 1 組のリーフを示す斜視図であり、図 8 B はその使用形態を例示する斜視図である。

[図9]図 9 は、本発明の実施の形態 5 によるリーフ印刷物を示す平面図である。

[図10]図 10 は、本発明の背景技術による卓上カレンダーを示す図であり、図 10 A は卓上カレンダーに使用される 1 組のリーフを示す斜視図であり、図 10 B は卓上カレンダーの斜視図である。

[図11]図 1 1 は、本発明の背景技術による壁掛カレンダーを示す図であり、図 1 1 A は壁掛カレンダーに使用される 1 組のリーフを示す斜視図であり、図 1 1 B は壁掛カレンダーの斜視図である。

[図12]図 1 2 は、本発明の別の実施の形態による折り畳みリーフ印刷物の表側を示す斜視図である。

[図13]図 1 3 は、図 1 2 の折り畳みリーフ印刷物の裏側を示す斜視図である。

[図14]図 1 4 は、本発明のさらに別の実施の形態による本を示す斜視図であり、特に当該本を開いた状態を示している。

[図15]図 1 5 は、本発明のさらに別の実施の形態によるリーフ印刷物を示す平面図である。

[図16]図 1 6 は、本発明のさらに別の実施の形態によるリーフ印刷物を示す平面図である。

[図17]図 1 7 は、本発明のさらに別の実施の形態による本を示す斜視図であり、特に当該本を開いた状態を示している。

[図18]図 1 8 は、本発明のさらに別の実施の形態による本を示す斜視図であり、特に当該本を開いた状態を示している。

発明を実施するための形態

[0017] (実施の形態 1)

図 1 は、本発明の実施の形態 1 によるリーフ印刷物の表面を示す平面図である。また図 2 は、同リーフ印刷物の裏面を示す背面図である。このリーフ印刷物 101 は、矩形のシート 1 の表面及び裏面に印刷が施されたシート状の印刷物である。シート 1 は、例えば、従来周知の卓上カレンダーの月表リーフと同程度の剛性を有する印刷用の紙である。シート 1 の大きさは、一例として A2 サイズである。シート 1 には、全体を 16 枚の矩形のリーフ 5 に等分するように、ミシン目の穿孔 3 が縦横に形成されている。穿孔 3 は、好ましい一例として、穿孔 3 に沿ってリーフ 5 を切り離した後に切断線上に凹凸が目立たず、かつ切り離しが容易な、いわゆるマイクロミシン目として形

成される。１枚のリーフ５の大きさは、一例としてＡ６サイズである。

[0018] １６枚のリーフ５の各々には、図において上側の辺、すなわち上辺に沿って綴じ孔７が形成されている。綴じ孔７は、１６枚のリーフ５の間で、上辺に対して互いに対応する２箇所形成されている。図１に示すように、シート１の表面には、カレンダーが印刷されている。より具体的には、シート１の表面において、１６枚のリーフ５のうち、１枚のリーフ５には表紙６が印刷され、残る１５枚のリーフ５の各々には、月数字９の異なるカレンダーの月表が印刷されている。１５枚の月表は、所定年の１月から１２月までと、その翌年の１月から３月までの月表である。これらの表紙６及び月表は、図上の上辺をリーフ５の各々の上辺とする姿勢で印刷されている。

[0019] このようにリーフ印刷物１０１には、１６枚のリーフ５の間で、互いに対応する一辺に沿い、かつ互いに対応する部位に、綴じ孔７が形成され、しかも、各リーフ５の表面には、当該一辺を共通に上辺とする姿勢で、表紙６又は月表が印刷されている。図１では、綴じ孔７が１６枚のリーフ５の全てを通じて、図上の上辺に沿って形成されたが、互いに対応する一辺に沿って形成されておれば足りる。例えば、４行４列の１６枚のリーフ５のうち、第１行と第３行の８枚のリーフ５については、図１とは逆に図上の下辺に沿って綴じ孔７が形成され、第２行と第４行の８枚のリーフ５については、図１の通りに、図上の上辺に沿って綴じ孔７が形成されていても良い。この場合には、綴じ孔７は、第１行のリーフ５と第２行のリーフ５との間のミシン目の穿孔３の両側に並ぶとともに、第３行のリーフ５と第４行のリーフ５との間のミシン目の穿孔３の両側に並ぶ。この場合においても、１６枚のリーフ５の各々には、綴じ孔７が沿っている一辺を上辺とする姿勢で、表紙６又は月表が印刷される。

[0020] 図２に示すように、リーフ印刷物１０１の裏面には、広告が印刷されている。広告は、４枚のリーフ５に跨って印刷された広告１３、リーフ５ごとに印刷された広告１１、広告主宛の注文書が印刷された葉書１７、及び広告主が提供する入場券１２を含んでいる。図示を略するが、１６枚のリーフ５の

全体にわたって、１つの広告が印刷されていても良い。入場券１２はリーフ５の半分の大きさであり、ミシン目の穿孔３により１枚のリーフ５を２等分した２領域に、２枚の入場券１２が印刷されている。入場券１２に限らず、割引券、ポイント券、記念品贈呈券など、広告主が販売促進を目的としてリーフ印刷物１０１の送付先に贈与する一種の債権を証する証書を印刷することも当然可能である。

[0021] リーフ印刷物１０１は、以上のように構成されるので、以下のような利点を有する。ミシン目の穿孔３に沿ってリーフ５を切り離し、例えば図１０に示した卓上リーフベース２０１のバイнда７１のリングを、切り離された１組のリーフ５の綴じ孔に通すことにより、当該１組のリーフ５を互いに重ねて、卓上リーフベース２０１に吊り下げることができる。それにより、所定年の１２枚の月表と、翌年の初めの３箇月とを含む卓上カレンダーとして、リーフ印刷物１０１を使用に供することができる。リーフ印刷物１０１は、図１１に示した磁石付きバイнда２０２に適用することにより、壁掛けカレンダーとして使用することも、当然可能である。

[0022] リーフ印刷物１０１は、使用に供されるリーフ５の大きさの１６倍の大きさではあるが、単一のリーフ５と略同一コストで印刷、ミシン目の穿孔３、及び綴じ孔７の形成が可能である。それゆえ、コストを削減して１６枚のリーフ５を作製することができる。リーフ印刷物１０１は、先に印刷を行い、その後にミシン目の穿孔３及び綴じ孔７を形成する方が、凹凸のない平坦なシート１に印刷をすることができ、印刷が容易である点で望ましい。

[0023] 図３は、リーフ印刷部１０１の郵便による搬送形態を例示する外観斜視図である。図３に例示するように、リーフ印刷物１０１をミシン目の穿孔３に沿って切り離すことなく、ミシン目の穿孔３に沿って単に折り畳むことにより封筒６５に収容し、面積を小さくして送料の低い郵送等を通じて、利用者の手元に届けることも可能である。例えば、リーフ印刷物１０１を２回折り畳むことにより、世界共通でありもっとも安価なＡ４サイズにして、郵送することが可能である。ミシン目の穿孔３がマイクロミシン目である場合でも

、一方側へ折り畳みのみでは、破断は起こらない。マシン目の穿孔3に沿ってリーフ5を切り離し、切り離されたリーフ5を重ね合わせる作業に比べると、単に折り畳む作業は、機械によっても、手作業によっても、より迅速かつ低コストで実行することができる。また、送付のための封筒等への梱包作業においても、重ね合わされた1組のリーフ5よりも、折り畳まれたリーフ印刷物101を梱包する方が容易であり、作業性が高いものとなる。このように、リーフ印刷物101は、製造、梱包、及び輸送のコストを節減することが可能である。

[0024] 図4は、リーフ印刷物101の使用形態を例示する外観斜視図であり、図4Aは正面側を示し、図4Bは背面側を示している。送付されたリーフ印刷物101を受け取ったリーフ印刷物101のユーザは、リーフ印刷物101をマシン目の穿孔3に沿って切り離すことにより、図4に例示するように、1組のリーフ5を卓上リーフベース201（図10参照）等への利用に供することができる。マシン目の穿孔3がマイクロマシン目である場合には、ユーザは、マシン目の穿孔3に沿って、折り畳まれた側とは反対側にリーフ印刷物101を折り曲げることにより、1組のリーフ5に簡単に切り離すことができる。

[0025] リーフ印刷物101には更に、その裏面に2枚以上のリーフ5にまたがる広告13が印刷されているので、マシン目の穿孔3に沿ってリーフ5を切り離されないままで送付されたリーフ印刷物101を受け取ったユーザは、リーフ5を切り離して利用する前に、裏面に印刷された広告13を一体のものとして目にすることができる。リーフ印刷物101を広告媒体として送付した広告主は、大きな広告が発揮する強い印象をユーザに伝えることができる。また、広告主は、リーフ印刷物101に、葉書17の形式で注文書を印刷することにより、ユーザの注文を促すことができ、宣伝の効果を高めることができる。葉書17に綴じ孔7が形成されていても、郵便葉書として我が国のみならず世界中で利用する上で支障はない。リーフ印刷物101にリーフ5単位の広告11（図2）が印刷されている場合には、かかる広告11は、

図4 Bに例示するように、卓上リーフベース201の背面側に表示することができる。

[0026] (実施の形態2)

図5は、本発明の実施の形態2によるリーフ印刷物を示す図であり、図5 Aは表面を示す平面図、図5 Bは裏面を示す背面図であり、図5 Cは裏面の別の例を示す背面図である。このリーフ印刷物102は、矩形のシート21の表面及び裏面に印刷が施されたシート状の印刷物である。シート21の大きさは、一例としてA4サイズである。シート21には、全体を4枚の矩形のリーフ25に等分するように、ミシン目の穿孔23が縦横に形成されている。ミシン目の穿孔23は、実施の形態1の穿孔3と同様に好ましい一例として、マイクロミシン目として形成される。

[0027] 4枚のリーフ25の各々には、互いに対応する辺である図上の上辺に沿って綴じ孔27が形成されている。図5 Aに例示するように、シート21の表面には、カレンダーと広告とが印刷されている。より具体的には、シート21の表面において、4枚のリーフ25のうち、リーフ26には表紙26が印刷され、残る3枚のリーフ25のうちの2枚には、月数字29の異なるカレンダーの月表が印刷され、残る1枚には広告24が印刷されている。これらの表紙、月表、及び広告は、綴じ孔27が形成されている辺をリーフ25の各々の上辺とする姿勢で印刷されている。

[0028] 図5 Bに例示するように、リーフ印刷物102の背面には、例えば4枚のリーフ25の全体にわたるように、広告28を印刷してもよい。図5 Cに例示するように、カレンダーの月表、広告24に加えて、広告主が提供する入場券22を印刷しても良い。入場券22はリーフ25の半分の大きさであり、ミシン目の穿孔23により1枚のリーフ25を2等分した2領域に、2枚の入場券22が印刷されている。入場券22に限らず、実施の形態1において述べたように、一般に何らかの債権証書を印刷することも当然可能である。

[0029] (実施の形態3)

図6は、本発明の実施の形態3によるリーフ印刷物を示す図であり、図6Aは表面を示す平面図、図6Bは裏面を示す背面図である。このリーフ印刷物103は、矩形のシート31の表面及び裏面に印刷が施されたシート状の印刷物である。シート31の大きさは、一例としてA5サイズである。シート31には、全体を2枚の矩形のリーフ35に等分するように、ミシン目の穿孔33が中心線に沿って形成されている。ミシン目の穿孔33は、実施の形態1の穿孔3と同様に好ましい一例として、マイクロミシン目として形成される。

[0030] リーフ印刷物103の表面には、2枚のリーフ35の各々に、月数字39の異なるカレンダーの月表が、互いに同一姿勢で印刷されている。各リーフ35には、その上辺に沿った部位であって、2枚のリーフ35の間で互に対応する2箇所、それぞれ綴じ孔37が形成されている。リーフ印刷物103の裏面には、2枚のリーフ35の各々に、互いに月数字39の異なるカレンダーの月表を含む印刷が、綴じ孔37の形成されている辺を上辺とするように、互いに同一姿勢で施されている。

[0031] リーフ印刷物103は、例えば12箇月分の月表が揃うように、1組のリーフ印刷物として作製される。ここで、表面に5月の月表が印刷されたリーフ35の裏面には、その翌月である6月の月表を含む印刷が施されている点に注目されたい。同様に、表面に6月の月表が印刷されたリーフ35の裏面には、その翌月である7月の月表を含む印刷が施されている。

[0032] 図7は、リーフ印刷物103の使用形態を例示する外観斜視図であり、図7Aは正面側から見た斜視図であり、図7Bは背面側から見た斜視図である。図6に例示したように各リーフ35に印刷を施すことにより、図7に例示するように、1組のリーフ印刷物103から切り離されて得られる1組のリーフ35を、卓上リーフベース201等に吊り下げて卓上カレンダーとして使用する場合に、卓上カレンダーの正面と背面の双方に、同一月の月表を目視することが可能となる。例えば、セールスパースンと顧客とが、卓上リーフベース201が載置されたデスクを挟んで商談をする場合に、同一月の月

表を双方が参照することが可能となる。それに加えて、各リーフ 3 5 の裏面には、2 箇月分の月表が印刷されているので、例えば顧客は、当月（例えば 6 月）の翌月（例えば 7 月）の月表をも参照することができる。

[0033] （実施の形態 4）

図 8 は、本発明の実施の形態 4 によるリーフ印刷物を示す図であり、図 8 A は切り離し後のリーフ印刷物を示す斜視図、図 8 B はその使用形態を例示する斜視図である。このリーフ印刷物 1 0 4 は、リーフ印刷物 1 0 1 と同様に、矩形のシートがミシン目の穿孔によって等分割されてなるリーフ 4 5 の各々の表面に、月表に代えて、日数字の異なるカレンダーの日表が印刷されている。各リーフ 4 5 には、年、月、日、曜日が印刷される。また、各リーフ 4 5 の表面から視た左辺に沿って、2 個の綴じ孔 4 7 が形成されている。リーフ印刷物 1 0 4 には、例えば 1 年分 3 6 5 枚、或いは 1 年と 3 月分の 4 5 6 枚のリーフ 4 5 が含まれる。例えば、A 列本判の大きさのシートに、5 1 2 等分するミシン目の穿孔を形成することにより、日表が印刷された実用的な大きさのリーフ 4 5 が得られる。日表が印刷されない余分のリーフ 4 5 には、例えば広告（図示略）が印刷される。図 8 A に示すように、リーフ印刷物 1 0 4 を 1 組のリーフ 4 5 に切り離し、重ねた上で、図 8 B に示すように、従来周知の卓上リーフベース 2 0 3 に適用することにより、日めくり式の卓上カレンダーとして利用に供することができる。

[0034] （実施の形態 5）

図 9 は、本発明の実施の形態 5 によるリーフ印刷物を示す平面図である。このリーフ印刷物 1 0 5 は、リーフ印刷物 1 0 1 と同様に、矩形のシート 5 1 がミシン目の穿孔 5 3 によって等分割されてなるリーフ 5 5 の各々の表面に、月数字 5 9 の異なるカレンダーの月表が印刷されている。リーフ印刷物 1 0 5 では、上下 2 領域の各々において、互いに異なる種類の 1 組の月表が印刷されている。上部領域に印刷される 1 組の月表は、卓上リーフベース 2 0 1（図 1 0）に適用されるものであり、下部領域に印刷される 1 組の月表は、磁石付きバイнда 2 0 2（図 1 1）に適用されるものである。下部領域

の各月表は、上部領域の各月表の半分の大きさである。このため、下部領域では各リーフ 5 5 がミシン目の穿孔 3 3 によって、2 枚の小リーフ 5 8 に 2 等分されている。それに伴い、上部領域のリーフ 5 5 ごとに形成される綴じ孔 5 7 と、下部領域の小リーフ 5 8 ごとに形成される綴じ孔 5 4 とは、リーフ 5 の単位では位置及び個数において異なったものとなっている。リーフ 5 5 の単位では、綴じ孔 5 7 は 2 個であり、綴じ孔 5 4 は 4 個である。しかし、卓上リーフベース 2 0 1 のリングバインダ 7 1 及び磁石付バインダ 2 0 2 のリングバインダ 8 1 のいずれも、それぞれが有する一对のリングのピッチは規格化された大きさである。それゆえ、小リーフ 5 8 の単位では、綴じ孔 5 4 は 2 個であり、ピッチも一对の綴じ孔 5 7 のピッチと同一である。リーフ印刷物 1 0 5 は、単一のシート 5 1 により 2 組の月表が得られるので、製造コストがさらに節減される。かかるリーフ印刷物 1 0 5 は、同一の顧客に卓上リーフベース 2 0 1 用と磁石付バインダ 2 0 2 用との 2 組の月表を送付するのに特に適している。

[0035] (その他の実施の形態)

(1) 実施の形態 1、2、5 によるリーフ印刷物 1 0 1、1 0 2、1 0 5 のように 4 枚以上のリーフを含むリーフ印刷物において、綴じ孔の形成されないリーフを一部に含んでも良い。すなわち、綴じ孔が形成されるリーフが複数枚あって、残るリーフについては、綴じ孔が形成されないリーフ印刷物を実施することも可能である。或いは、残るリーフについては、上記複数のリーフの綴じ孔とはピッチ或いは個数の異なる綴じ孔を形成してもよい。或いは、残るリーフについては、各リーフをミシン目の穿孔により更に等分割し、分割された小リーフの各々に綴じ孔を形成しても良い。実施の形態 5 は、その一例となっている。

[0036] (2) 実施の形態 1～5 によるリーフ印刷物 1 0 1～1 0 5 では、各リーフ 5、2 5、3 5、4 5、5 5、5 8 に、綴じ孔 7、2 7、3 7、4 7、5 7、5 4 がそれぞれ形成された。これに対して、綴じ孔が形成されないリーフ印刷物を製作することも可能である。綴じ孔がなく、対応する一辺に対

して姿勢を共通にする印刷が施された１組のリーフは、例えばトランプカードを製作するのに適している。

[0037] (３) 実施の形態１において述べたように、リーフ印刷物１０１～１０５を製造するには、先に印刷を行い、その後にミシン目の穿孔３、２３、３３、５３及び綴じ孔７、２７、３７、５７、５４を形成する方が、凹凸のない平坦なシート１、２１、３１、５１に印刷をすることができ、印刷が容易である点で望ましい。当該製造方法は、シート１、２１、３１、５１よりも、幾分大きめのシートを準備し、これに印刷を施し、その後にミシン目の穿孔３、２３、３３、５３及び綴じ孔７、２７、３７、５７、５４を形成するとともに、印刷後のいずれかの段階で、大きめのシートをシート１、２１、３１、５１の大きさに切断する工程を含んでいても良い。シート１、２１、３１、５１を含み、それよりも大きいシートに印刷することは、シート１、２１、３１、５１に印刷することにも該当する。それゆえ幾分大きめのシートを準備することを含む上記の方法においても、シート１、２１、３１、５１に印刷を施し、その後にミシン目の穿孔３、２３、３３、５３及び綴じ孔７、２７、３７、５７、５４を形成する点に変わりはない。

[0038] (４) 図１２は、本発明の別の実施の形態による折り畳みリーフ印刷物の表側を示す斜視図である。また図１３は、図１２の折り畳みリーフ印刷物の裏側を示す斜視図である。この折り畳みリーフ印刷物１０６は、矩形かつ帯長状のシート６１の表面及び裏面に印刷が施されたシート状の印刷物である。シート６１には、全体を６枚の矩形のリーフ６４に等分するように、ミシン目の穿孔６３が縦横に形成されている。ミシン目の穿孔６３は、シート６１の長手方向に延びる１本と、短手方向に延び互いに長手方向に並ぶ２本とを含んでいる。ミシン目の穿孔６３は、実施の形態１の穿孔３と同様に好ましい一例として、マイクロミシン目として形成される。

[0039] ６枚のリーフ６４の各々には、互いに対応する辺である長手方向に延びるミシン目の穿孔６３に沿って綴じ孔６７が形成されている。図１２に例示するように、シート６１の表面には、カレンダーの月表６９が印刷されている

。また、図13に例示するように、シート61の裏面には、一部を除いたりーフ64の各々に、広告68が印刷されている。これらの月表69及び広告68は、いずれも、綴じ孔67が形成されている辺をリーフ64の各々の上辺とする姿勢で印刷されている。

[0040] 折り畳みリーフ印刷物106は、短手方向に延び互いに長手方向に並ぶ2本のミシン目の穿孔63を折り目として、つづら折りに折り畳まれる。図12及び図13には、展開された状態から折り畳まれた状態に至る中間の状態が例示されている。つづら折りに折り畳むことにより、図13の矢印A、Bが示すようにミシン目の穿孔63に沿って分離することを防ぎつつ、折り畳みリーフ印刷物106を折り畳んだ状態にすることが可能となる。すなわち、折り畳みリーフ印刷物106は、破損を防ぎつつ、保管、輸送に便宜なコンパクトな形状にすることを可能にする。例えば、折り畳みリーフ印刷物106を製造した後、つづら折りに折り畳み、折り畳まれた複数の折り畳みリーフ印刷物106を重ねて梱包し、梱包されたものを顧客へ輸送することにより、顧客にリーフ64を提供することが可能となる。別の例として、折り畳みリーフ印刷物106は、短手方向に延び互いに長手方向に並ぶ3本以上のミシン目の穿孔63を有し、当該3本以上のミシン目の穿孔63を折り目として、つづら折りに折り畳まれてもよい。なお、図12及び図13の例では、リーフ64はA列又はB列の規格化された大きさを有しており、このため、帯長状のシート61の長手方向と短手方向の長さの比は、約2.1である。つづら折りに好適であるという観点からは、帯長状のシート61の長手方向と短手方向の長さの比は、2以上であるのが望ましい。

[0041] (5) 図14は、本発明のさらに別の実施の形態による本を示す斜視図であり、特に当該本を開いた状態を示している。なお、本明細書において、「本」とは、複数葉（シート）が綴じられたものを全て含み、例えばパンフレット及びブックレットをも含む。図14に例示する本301は、パンフレットとして形成されている。この本301には、6葉（シート）の矩形のリーフ印刷物111A～113A、111B～113Bが綴じ込まれている。

リーフ印刷物 1 1 1 A とリーフ印刷物 1 1 1 B とは、互いに連結しており、両者の間には切り離し用のミシン目の穿孔 3 1 2 が形成されている。リーフ印刷物 1 1 2 A とリーフ印刷物 1 1 2 B の関係、及びリーフ印刷物 1 1 3 A とリーフ印刷物 1 1 3 B の関係も、同様である。便宜のために、リーフ印刷物 1 1 1 A とリーフ印刷物 1 1 1 B とが連結されてなるものを、リーフ印刷物 1 1 1 により表す。他も同様である。リーフ印刷物 1 1 1、1 1 2 及び 1 1 3 の各々も、本発明のリーフ印刷物の一例となっている。3 枚のリーフ印刷物 1 1 1 ~ 1 1 3 は、互いに重ね合わされ、ミシン目の穿孔 3 1 2 に沿ってステプラー 3 1 4 により綴じられている。すなわち、リーフ印刷物 1 1 1 A ~ 1 1 3 A、1 1 1 B ~ 1 1 3 B は、これらの中の任意の 1 枚をミシン目の穿孔 3 1 2 に沿って、本 3 0 1 の残余の部分から切り離すことを可能にする形態で綴じられている。

[0042] リーフ印刷物 1 1 1 A ~ 1 1 3 A、1 1 1 B ~ 1 1 3 B の各々は、矩形のシート 3 1 1 の表面及び裏面に印刷が施されたシート状の印刷物である。シート 3 1 1 には、全体を 4 枚の矩形のリーフ 3 1 5 に等分するように、ミシン目の穿孔 3 1 3 が縦横に形成されている。ミシン目の穿孔 3 1 2 及び 3 1 3 は、実施の形態 1 の穿孔 3 と同様に好ましい一例として、マイクロミシン目として形成される。4 枚のリーフ 3 1 5 のうちの 3 枚の各々には、互に対応する辺である図 1 の上辺に沿って綴じ孔 3 1 7 が形成されている。図 1 4 に例示するように、シート 3 1 1 の各々には、カレンダーの月表 3 1 9 と広告 3 1 8 とが印刷されている。図 1 4 の例では、カレンダーの月表 3 1 9 と広告 3 1 8 とは、4 枚のリーフ 3 1 5 のうちの一部に印刷されており、いずれも、綴じ孔 3 1 7 が形成されている辺をリーフ 3 1 5 の各々の上辺とする姿勢で印刷されている。2 枚のリーフ 3 1 5 の共通の一主面にはカレンダーの月表 3 1 9 が印刷され、共通の他方主面には広告 3 1 8 が印刷されている。これら双方主面の間で、月表 3 1 9 と広告 3 1 8 とは同じ姿勢で印刷されている。

[0043] 本 3 0 1 の供給を受けたユーザは、ミシン目の穿孔 3 1 2 又は 3 1 3 に沿

って、所望のリーフ 315 を、本 301 の残余の部分から切り離すことが可能である。リーフ印刷物 111A～113A、111B～113B の任意の一枚の全体を切り離すことも可能である。それにより、綴じ孔 317 を有する所望のリーフ 315 を、ユーザ自身が選択し、ファイルバインダに綴じて使用に供することが可能となる。すなわち、本 301 が提供する数々のコンテンツから、ユーザが所望のものを選択して、編集物を作成することが可能となる。

[0044] (6) 図 15 は、本発明のさらに別の実施の形態によるリーフ印刷物を示す平面図である。このリーフ印刷物 120 は、互いに連結された 2 枚の矩形状のシート 320 及び 321 に、切り離し用のミシン目の穿孔 322、323、324 が縦横に形成されることにより、4 つの領域 325、4 つの領域 335、4 つの領域 327、2 つの領域 328、及び 4 つの領域 326 に分割されている。4 つの領域 325 によりリーフ印刷物 121 が形成されている。また、4 つの領域 335 によりリーフ印刷物 122 が形成されている。矩形状のシート 320 及び 321 の間には、一例として、切り離し用のミシン目の穿孔 322 が形成されている。ミシン目の穿孔 322 の両側に並ぶ領域 327、328 には、バインダに綴じることが可能な複数の（図 15 では多数の）綴じ孔 332 が形成されている。この綴じ孔 332 をバインダに係止することにより、リーフ印刷物 120 を他の同様のリーフ印刷物とともに綴じることができ、それにより本を形成することができる。すなわち、リーフ印刷物 120 は、バインダを用いた製本に適している。

[0045] リーフ印刷物 120 は、ミシン目の穿孔 324 に沿って、2 枚のリーフ印刷物 121 及び 122 を、残余の領域 326、327、328 から切り離すことが可能となっている。これにより、リーフ印刷物 120 が綴じられた本から、コンテンツが印刷されている 2 枚のリーフ印刷物 121 及び 122 の各々を、本の残余の部分から切り離すことが可能となる。また、領域 325 の各々、あるいは幾つかの領域 325 が連結したものを、本の残余の部分から切り離すことも可能となる。リーフ印刷物 120 は、コンテンツが印刷さ

れたリーフ印刷物 1 2 1 及び 1 2 2 に、ミシン目の穿孔 3 2 4 を介して連結する別の領域 3 2 7 及び 3 2 8 において本に綴じられるので、本の残余の部分からのリーフ印刷物 1 2 1 及び 1 2 2 の切り離しが容易である。

[0046] 図 1 5 の例では、リーフ印刷物 1 2 0 は、A 3 規格の大きさであり、2 枚の矩形状のシート 3 2 0 及び 3 2 1 は、それぞれ A 4 規格の大きさであり、2 枚のリーフ印刷物 1 2 1 及び 1 2 2 は、それぞれ B 5 規格の大きさである。領域 3 2 5, 3 3 5 は何れも B 7 規格の大きさである。リーフ印刷物 1 2 1 は、B 6 規格の 1 枚のリーフと、B 7 規格の 2 枚のリーフのそれぞれに、1 辺に沿った 2 個の綴じ孔 3 2 9 が形成されている。B 7 規格の 2 枚のリーフの表面には、綴じ孔 3 2 9 が形成される一辺に対して、互いに同一姿勢で広告 3 3 8 が印刷されている。例えば、これら B 7 規格の 2 枚のリーフの裏面には、図示を略するカレンダーの月表が、表面の広告 3 3 8 と同一姿勢で印刷されている。B 6 規格の 1 枚のリーフにも、その表面に広告 3 3 7 が印刷されている。リーフ印刷物 1 2 2 には、4 枚の領域 3 3 5 からなる B 5 規格の 1 枚のリーフが形成されている。当該 1 枚のリーフの一辺に沿って、2 個の綴じ孔 3 3 3 が形成されている。当該リーフの表面には、4 つの領域 3 3 5 に跨るように広告 3 3 6 が印刷されている。例えば、このリーフの裏面には、図示を略するカレンダーの月表が、表面の広告 3 3 5 と同一姿勢で印刷されている。ユーザは、本に綴じられたリーフ印刷物 1 2 0 から、綴じ孔 3 2 9、3 3 3 を有する所望のリーフを切り取り、ファイルバインダに綴じて使用に供することが可能となる。なお、ミシン目の穿孔 3 2 2 を形成しない形態を実施することも可能である。

[0047] (7) 図 1 6 は、本発明のさらに別の実施の形態によるリーフ印刷物を示す平面図である。このリーフ印刷物 1 3 0 は、リーフ印刷物 1 2 0 (図 1 5) と同様に、互いに連結された 2 枚の矩形状のシート 3 4 0 及び 3 4 1 に、切り離し用のミシン目の穿孔 3 4 3、3 5 1、3 5 2 が縦横に形成されることにより、4 つの領域 3 4 5、2 つの領域 3 5 5、4 つの領域 3 4 7、2 つの領域 3 4 8、2 つの領域 3 4 6、及び 1 つの領域 3 5 4 に分割されてい

る。4つの領域345によりリーフ印刷物131が形成されている。また、2つの領域355によりリーフ印刷物132が形成されている。矩形状のシート340及び341の間には、一例として、切り離し用のミシン目の穿孔351が形成されている。リーフ印刷物120（図15）とは異なり、ミシン目の穿孔351の両側に並ぶ領域347、348には、バイндаに綴じることが可能にする複数の綴じ孔332（図15）は形成されていない。ミシン目の穿孔351に沿って縫い糸などにより、リーフ印刷物120を他の同様のリーフ印刷物とともに綴じることができ、それにより本を形成することができる。

[0048] リーフ印刷物130は、ミシン目の穿孔352に沿って、2枚のリーフ印刷物131及び132を、残余の領域346、347、348、354から切り離すことが可能となっている。これにより、リーフ印刷物130が綴じられた本から、コンテンツが印刷されている2枚のリーフ印刷物131及び132の各々を、本の残余の部分から切り離すことが可能となる。また、領域345、355の各々を、本の残余の部分から切り離すことも可能となる。リーフ印刷物130は、コンテンツが印刷されたリーフ印刷物131及び132に、ミシン目の穿孔352を介して連結する別の領域347、及び348において本に綴じられるので、本の残余の部分からのリーフ印刷物131及び132の切り離しが容易である。

[0049] 図16の例では、リーフ印刷物130は、A3規格の大きさであり、2枚の矩形状のシート340及び341は、それぞれA4規格の大きさであり、2枚のリーフ印刷物131及び132は、それぞれB5規格の大きさである。領域355はB6規格の大きさであり、領域345はB7規格の大きさである。リーフ印刷物131には、B7規格の4枚のリーフのそれぞれに、図中の上辺に沿った2個の綴じ孔344、又は図中の左辺に沿った6個の綴じ孔346が形成されている。綴じ孔344又は綴じ孔346を共通に有するリーフの間では、これら綴じ孔344又は346が形成される一辺に対して互いに同一姿勢で、カレンダーの月表349又は広告351などのコンテン

ツが印刷されている。これらのリーフの裏面にも、図示を略する何らかのコンテンツが、表面のコンテンツと同一姿勢で印刷されている。リーフ印刷物 1 3 2 には、B 6 規格の 2 枚のリーフのそれぞれに、図中の上辺に沿った 2 個の綴じ孔 3 5 7 が形成されている。これら 2 枚のリーフには、綴じ孔 3 5 7 が形成される一辺に対して互いに同一姿勢で、カレンダーの月表 3 5 9 又は広告 3 5 8 などのコンテンツが印刷されている。これらのリーフの裏面にも、図示を略する何らかのコンテンツが、表面のコンテンツと同一姿勢で印刷されている。ユーザは、本に綴じられたリーフ印刷物 1 3 0 から、綴じ孔 3 4 4、3 4 6、3 5 7 を有する所望のリーフを切り取り、ファイルバインダに綴じて使用に供することが可能となる。なお、リーフ印刷物 1 3 0 は、ミシン目の穿孔 3 5 1 を形成することなく、2 枚の矩形状のシート 3 4 0 及び 3 4 1 の境目に沿って本に綴じすることも可能であり、あるいはミシン目の穿孔 3 5 1 を、製本に用いられる中綴じ用ミシン目に置き換えても良い。

[0050] (8) 図 1 7 は、本発明のさらに別の実施の形態による本を示す斜視図であり、特に当該本を開いた状態を示している。この本 3 0 2 には、リーフ印刷物 1 3 0 (図 1 6) に近似した多数のリーフ印刷物が綴じ込まれている。図 1 7 において、開かれたページの左側には、リーフ印刷物 1 4 1 が、領域 3 7 2 を通じて本 3 0 2 に綴じられている。綴じ代として機能する領域 3 7 2 は、切り離し用のミシン目の穿孔 3 6 2 を介して、リーフ印刷物 1 4 1 に連結している。図 1 7 において、開かれたページの右側には、リーフ印刷物 1 4 2 が、領域 3 7 2 を通じて本 3 0 2 に綴じられている。この領域 3 7 2 は、切り離し用のミシン目の穿孔 3 6 2 を介して、リーフ印刷物 1 4 2 に連結している。

[0051] リーフ印刷物 1 4 1 は、縦横に形成された切り離し用のミシン目の穿孔 3 6 3 により 4 枚のリーフ 3 6 5 に分割されている。4 枚のリーフ 3 6 5 のそれぞれに、図中の左辺に沿った 6 個の綴じ孔 3 6 7 が形成されている。4 枚のリーフ 3 6 5 のうちの 2 枚には、綴じ孔 3 6 7 が形成される一辺に対して互いに同一姿勢で、カレンダーの月表 3 6 9 又は広告 3 6 8 などのコンテン

ツが印刷されている。これらのリーフ 3 6 5 の裏面にも、図示を略する何らかのコンテンツが、表面のコンテンツと同一姿勢で印刷されている。リーフ印刷物 1 4 2 も同様に、縦横に形成された切り離し用のミシン目の穿孔 3 6 3 により 4 枚のリーフ 3 6 5 に分割されている。これら 4 枚のリーフ 3 6 5 のそれぞれに、図中の上辺に沿った 2 個の綴じ孔 3 6 4 が形成されている。これら 4 枚のリーフ 3 6 5 の表面には、印刷が施されていない。図示を略するが、これらのリーフ 3 6 5 の裏面には、綴じ孔 3 6 4 が形成される一辺に対して互いに同一姿勢で、コンテンツが印刷されている。ユーザは、本 3 0 2 に綴じられたリーフ印刷物 1 4 1、1 4 2 の中の所望のリーフ 3 6 5 を、本 3 0 2 の残余の部分から切り離し、ファイルバインダに綴じて使用に供することが可能となる。

[0052] (9) 複数葉を綴じ込んだ本に関し、1 葉（シート）のみが、図 1 4 ～図 1 7 に例示したリーフ印刷物 1 1 1 A ～ 1 1 3 A、1 1 1 B ～ 1 1 3 B、1 2 1、1 2 2、1 3 1、1 3 2、1 4 1 及び 1 4 2 のいずれか 1 枚を含んでおり、その他の葉（シート）には、切り離し用のミシン目の穿孔も、綴じ孔もない、通常の印刷物のみを含んだ本を実施することも可能である。かかる本も、本発明の範囲に含まれる。また、図 1 2 ～図 1 7 において、様々なリーフ印刷物にカレンダー及び広告が印刷された例を示したが、カレンダー及び広告以外のコンテンツを印刷することも当然可能である。

[0053] (10) 図 1 8 は、本発明のさらに別の実施の形態による本を示す斜視図であり、特に当該本を開いた状態を示している。この本 3 0 3 には、リーフ印刷物 1 4 3 が綴じ込まれている。綴じ代として機能する領域 3 9 2 は、切り離し用のミシン目の穿孔 3 8 2 を介して、リーフ印刷物 1 4 3 に連結している。リーフ印刷物 1 4 3 は、縦に形成された切り離し用のミシン目の穿孔 3 8 1 と、横に形成された切り離し用のミシン目の穿孔 3 8 3 とにより、6 枚のリーフ 3 8 5 に分割されている。リーフ印刷物 1 4 3 は、縦のミシン目の穿孔 3 8 1 に沿って、つづら折りに折り畳まれることにより、本 3 0 3 の中に、他の紙葉からはみ出すことなく収納される。

[0054] 6枚のリーフ385のそれぞれに、図中の上辺に沿った2個の綴じ孔384が形成されている。図示を略するが、6枚のリーフ385のうちの少なくとも2枚には、綴じ孔384が形成される一辺に対して互いに同一姿勢で、何らかのコンテンツが印刷されている。これら少なくとも2枚のリーフ385の裏面にも、図示を略する何らかのコンテンツが、表面のコンテンツと同一姿勢で印刷されている。ユーザは、本303に綴じられたリーフ印刷物143の中の所望のリーフ385を、矢印393が例示するように、ミシン目の穿孔381、382、又は383に沿って、本303の残余の部分から切り離し、ファイルバインダに綴じて使用に供することが可能となる。

[0055] 本出願は、2011年6月9日に日本国に本出願人により出願された特願2011-128833号、及び、同じく2012年1月22日に日本国に本出願人により出願された特願2012-10559号に基づくものであり、その全内容は参照により本出願に組み込まれる。

[0056] 本発明の特定の実施の形態についての上記説明は、例示を目的として提示したものである。それらは、網羅的であったり、記載した形態そのままに本発明を制限したりすることを意図したものではない。数多くの変形や変更が、上記の記載内容に照らして可能であることは当業者に自明である。

符号の説明

[0057] 1、21、31、51、61、311、320、321、340、341
シート

3、23、33、53、63、313、312、322、323、324
、343、351、352、362、363、381、382、383 ミ
シン目の穿孔

5、25、35、45、55、58、64、315、365、385 リ
ーフ

7、27、37、57、67、317、329、333、344、346
、357、364、367、384 綴じ孔

13、28、68、318、336、337、338、351、358、

368 広告

69、319、349、359、369 カレンダー（月表）

101～105、106、111A～113A、111B～113B、1
21、122、141、142、143 リーフ印刷物

301、302、303 本

請求の範囲

- [請求項1] 矩形のシート状のリーフ印刷物であって、
全体を4枚以上の矩形のリーフに等分するように、切り離し用のミシン目の穿孔が縦横に形成されており、
前記4枚以上のリーフのうちの複数のリーフには、互いに対応する一辺に沿った、互いに対応する複数部位に、それぞれ綴じ孔が形成され、
前記複数のリーフには、共通する一方主面に、互いに対応する前記一辺に対して互いに同一姿勢で、それぞれ印刷が施されており、
前記複数のリーフには、共通する他方主面にも、それぞれ印刷が施されており、
前記複数のリーフの各々に施されている前記印刷は、前記一方主面と前記他方主面との間で、互いに同一姿勢であるリーフ印刷物。
- [請求項2] 前記共通する一方主面に施された前記印刷は、カレンダーの印刷であり、
前記共通する他方主面に施された前記印刷は、広告の印刷である、請求項1に記載のリーフ印刷物。
- [請求項3] 請求項1又は2に記載のリーフ印刷物から、前記ミシン目の穿孔に沿って切り離されたリーフが、前記一辺が互いに揃うように、開閉可能なバイндаに綴じられてなる綴じリーフ。
- [請求項4] 請求項1又は2に記載のリーフ印刷物を製造する工程と、
前記リーフ印刷物から前記ミシン目に沿って前記リーフ毎に切り離す工程と、
切り離された前記リーフを重ねて梱包する工程と、
梱包された前記リーフを顧客へ輸送する工程と、
を備えるリーフ提供方法。
- [請求項5] 請求項1又は2に記載のリーフ印刷物が折り畳まれてなる折り畳みリーフ印刷物であって、

前記矩形のリーフ印刷物は帯長状であり、

前記切り離し用のミシン目の穿孔のうち、前記帯長状のリーフ印刷物の短手方向に延びるものは、前記帯長状のリーフ印刷物の長手方向に2本以上並んでおり、

前記リーフ印刷物は、前記長手方向に2本以上並んだミシン目の穿孔を折り目として、つづら折りに折り畳まれている、折り畳みリーフ印刷物。

[請求項6] 複数葉を綴じ込んだ本であって、

前記複数葉のうちの少なくとも1葉は、請求項1又は2に記載のリーフ印刷物を含んでおり、

当該リーフ印刷物は、切り離し用のミシン目の穿孔によって、前記本の残余の部分から切り離し可能である本。

[請求項7] 前記少なくとも1葉の各々は、前記リーフ印刷物と、当該リーフ印刷物に連結する連結領域と、を含み、

前記リーフ印刷物と前記連結領域との間に切り離し用のミシン目の穿孔が形成されており、

前記少なくとも1葉の各々は、前記連結領域において綴じられている、請求項6に記載の本。

[請求項8] 前記複数葉のうちの別の少なくとも1葉は、切り離し用のミシン目の穿孔によって切り離し可能な矩形のシート状の別のリーフ印刷物を含んでおり、

当該別のリーフ印刷物は、

全体を2枚以上の矩形のリーフに等分するように、切り離し用のミシン目の穿孔が縦、横、又は縦横に形成されており、

前記2枚以上のリーフのうちの複数のリーフには、互いに対応する一辺に沿った、互いに対応する複数部位に、それぞれ綴じ孔が形成され、

前記2枚以上のリーフのうちの前記複数のリーフには、共通する片

方の主面に、互いに対応する前記一辺に対して互いに同一姿勢で、それぞれ印刷が施されており、

前記 2 枚以上のリーフのうちの前記複数のリーフには、前記共通する片方の主面の反対の主面にも、それぞれ印刷が施されており、

前記 2 枚以上のリーフのうちの前記複数のリーフの各々に施されている前記印刷は、前記片方の主面と前記反対の主面との間で、互いに同一姿勢である、請求項 6 又は 7 に記載の本。

[請求項 9] 前記複数葉のうちの別の少なくとも 1 葉は、切り離し用のミシン目の穿孔によって切り離し可能な矩形のシート状の別のリーフ印刷物を含んでおり、

当該別のリーフ印刷物には、一辺に沿った複数部位に綴じ孔が形成されており、

当該別のリーフ印刷物には、両主面に互いに同一姿勢で印刷が施されている、請求項 6 又は 7 に記載の本。

[請求項 10] 前記別の少なくとも 1 葉の各々は、前記別のリーフ印刷物と、当該別のリーフ印刷物に連結する別の連結領域と、を含み、

前記別のリーフ印刷物と当該別の連結領域との間に切り離し用のミシン目の穿孔が形成されており、

前記別の少なくとも 1 葉の各々は、前記別の連結領域において綴じられている、請求項 8 又は 9 に記載の本。

[請求項 11] 複数葉を綴じ込んだ本であって、

前記複数葉のうちの少なくとも 1 葉は、切り離し用のミシン目の穿孔によって切り離し可能な矩形のシート状のリーフ印刷物を含んでおり、

当該リーフ印刷物は、

全体を 2 枚以上の矩形のリーフに等分するように、切り離し用のミシン目の穿孔が縦、横、又は縦横に形成されており、

前記 2 枚以上のリーフのうちの複数のリーフには、互いに対応する

一辺に沿った、互いに対応する複数部位に、それぞれ綴じ孔が形成され、

前記複数のリーフには、共通する一方主面に、互いに対応する前記一辺に対して互いに同一姿勢で、それぞれ印刷が施されており、

前記複数のリーフには、共通する他方主面にも、それぞれ印刷が施されており、

前記複数のリーフの各々に施されている前記印刷は、前記一方主面と前記他方主面との間で、互いに同一姿勢である本。

[請求項12] 前記共通する一方主面に施された前記印刷は、カレンダーの印刷であり、

前記共通する他方主面に施された前記印刷は、広告の印刷である、請求項11に記載の本。

[請求項13] 複数葉を綴じ込んだ本であって、

前記複数葉のうちの少なくとも1葉は、切り離し用のミシン目の穿孔によって切り離し可能な矩形のシート状のリーフ印刷物を含んでおり、

当該リーフ印刷物には、一辺に沿った複数部位に綴じ孔が形成されており、

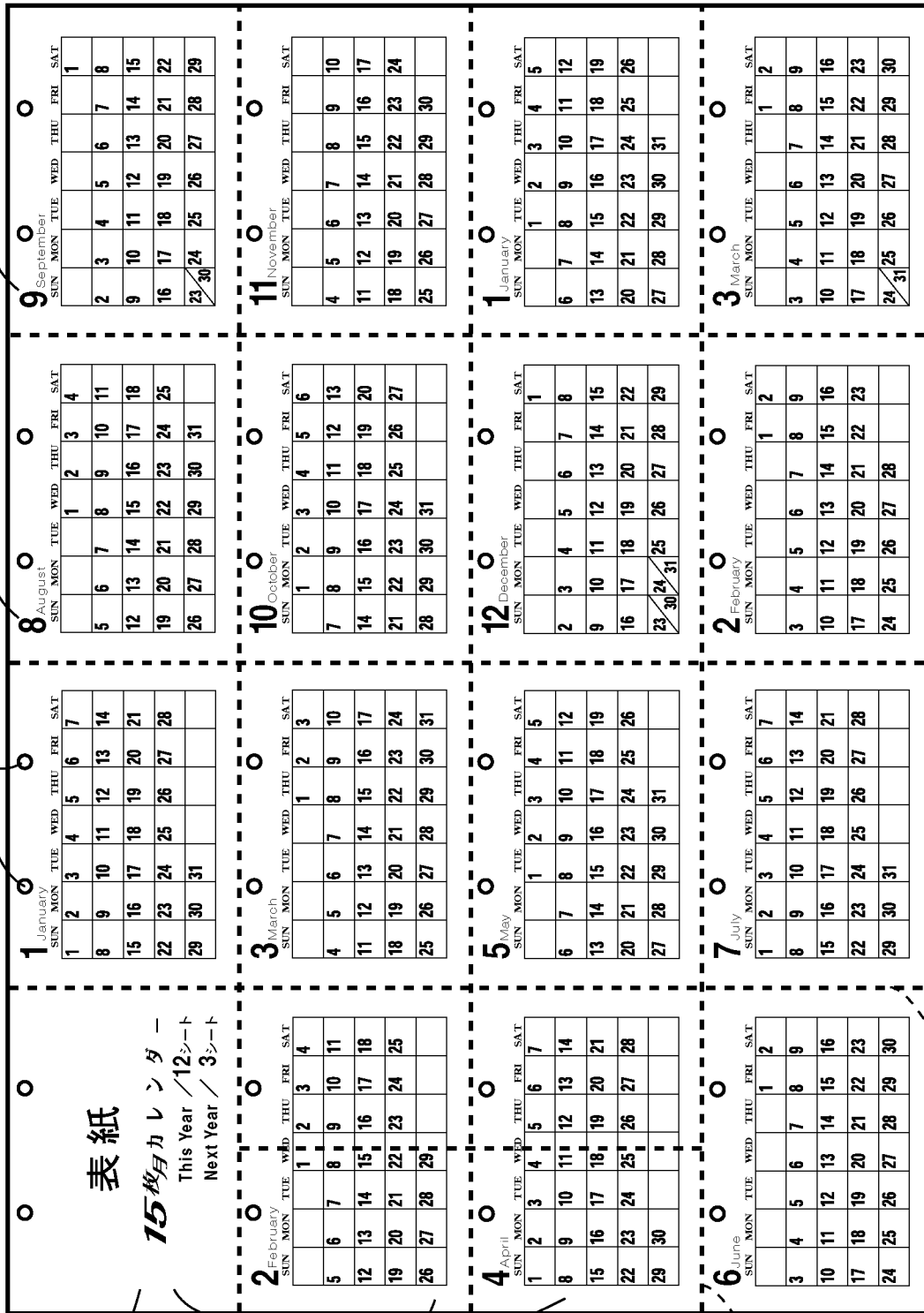
当該リーフ印刷物には、両主面に互いに同一姿勢で印刷が施されている本。

[請求項14] 前記少なくとも1葉の各々は、前記リーフ印刷物と、当該リーフ印刷物に連結する連結領域と、を含み、

前記リーフ印刷物と当該連結領域との間に切り離し用のミシン目の穿孔が形成されており、

前記少なくとも1葉の各々は、前記連結領域において綴じられている、請求項11ないし13の何れかに記載の本。

[図1]



101

1

3

Fig.1

[図2]

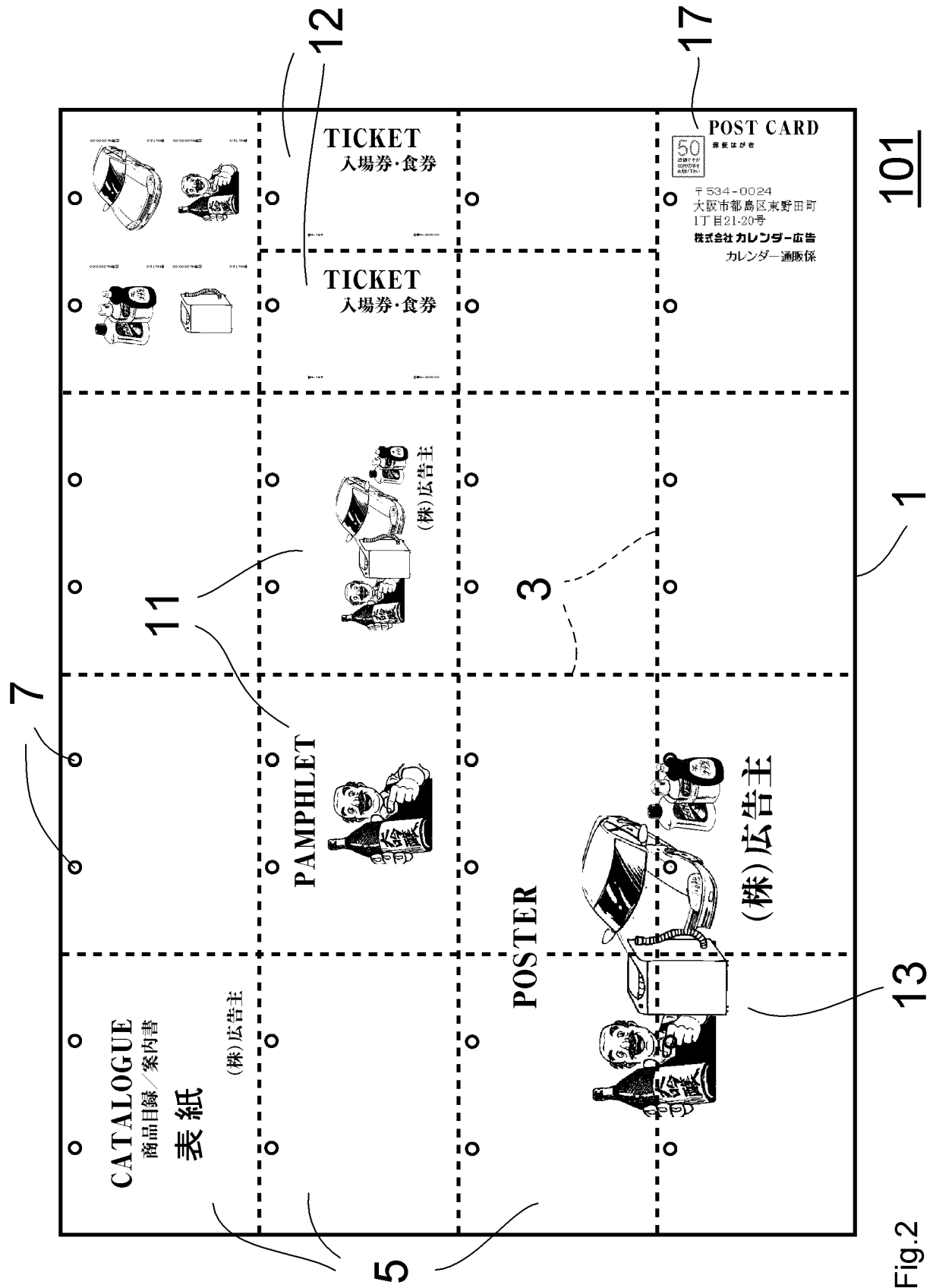
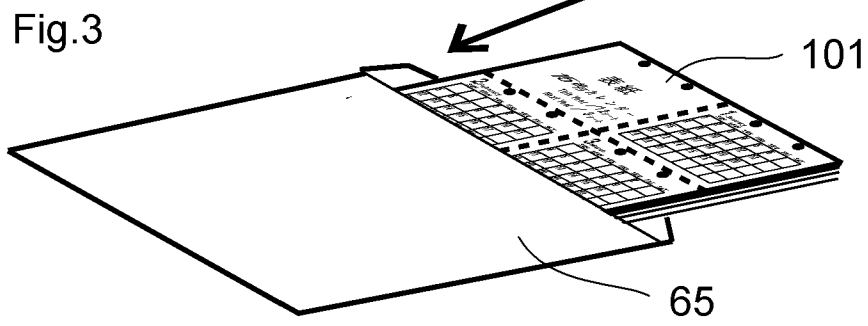


Fig. 2

[図3]



[図4]

Fig.4A

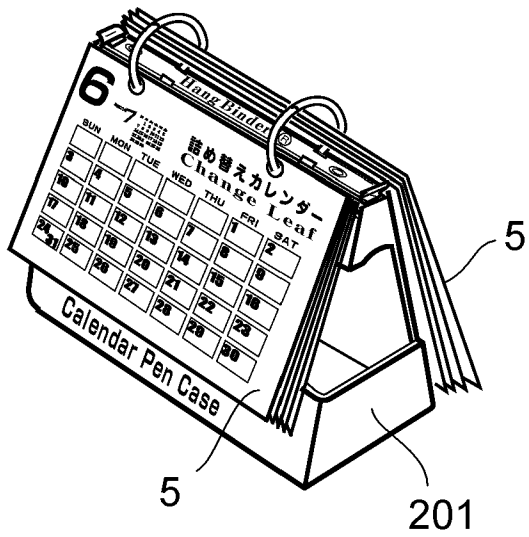
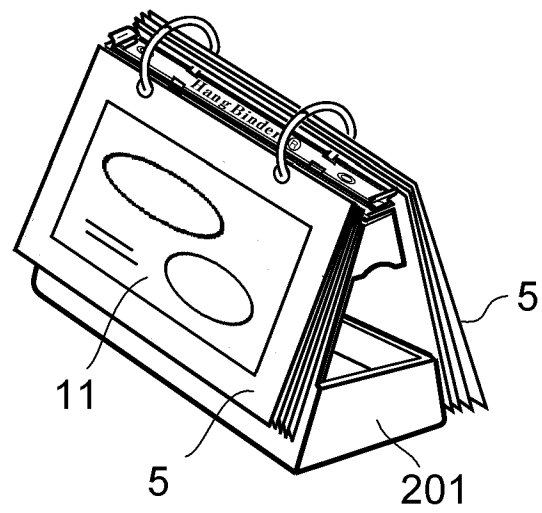
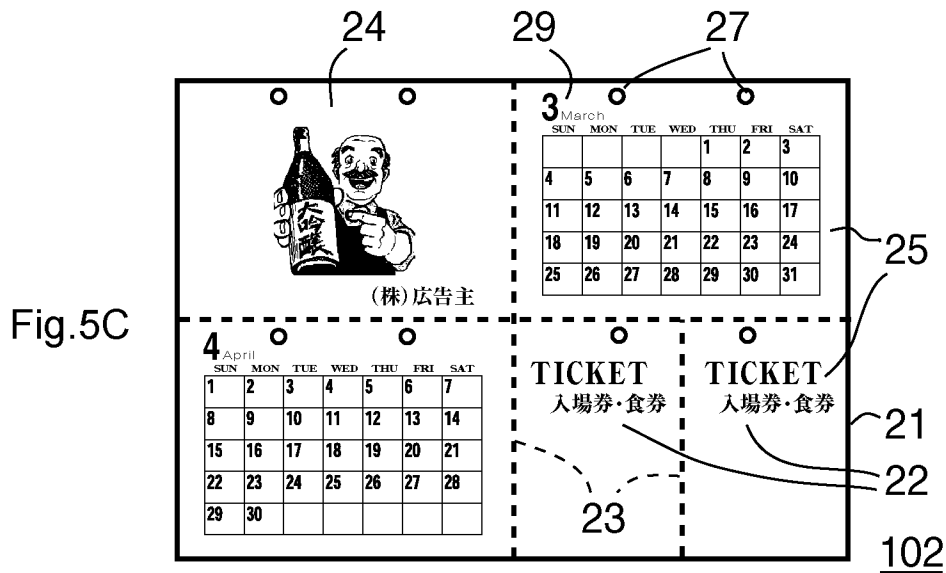
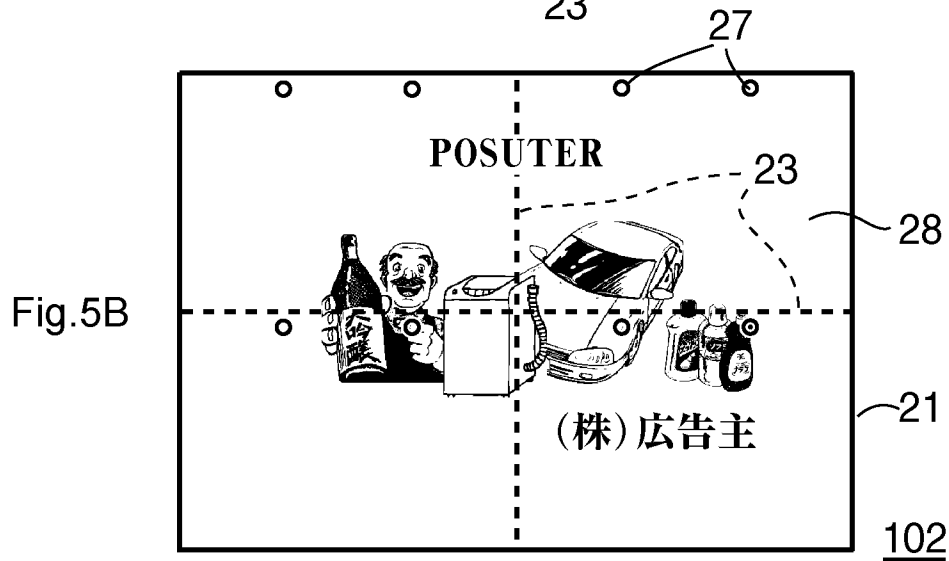
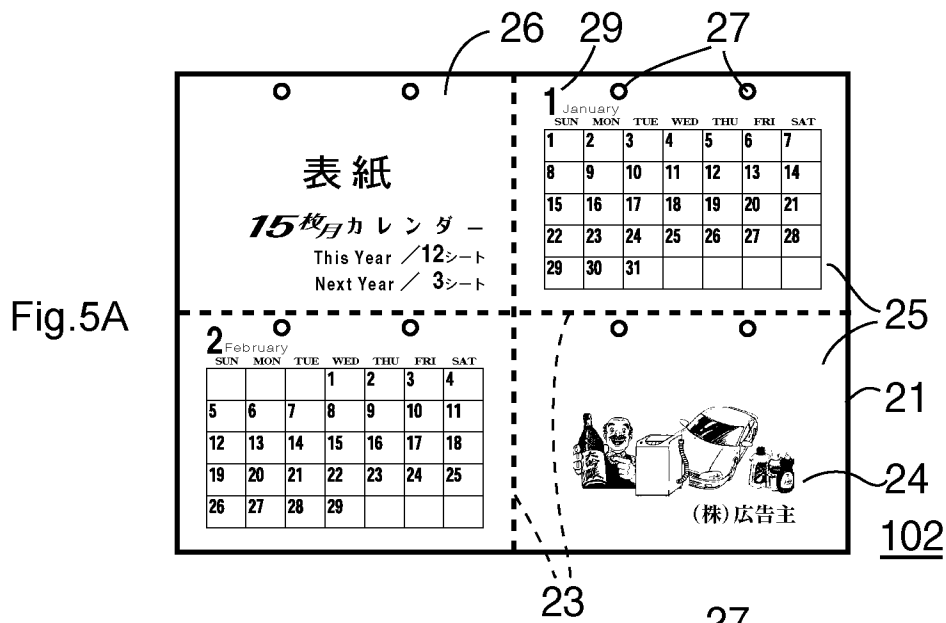


Fig.4B



[図5]



[図6]

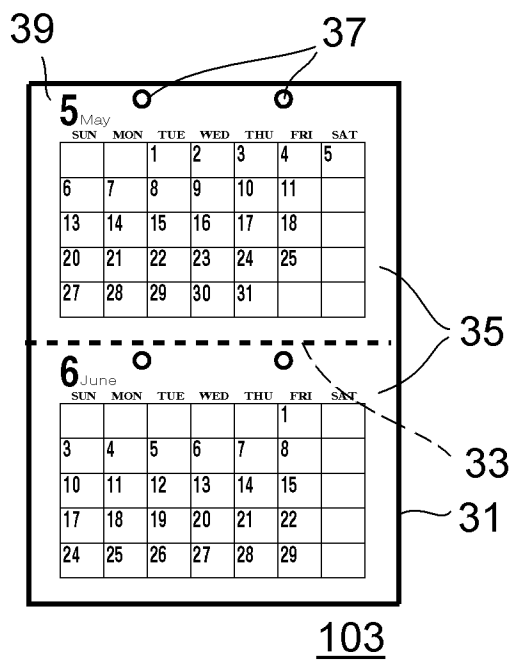


Fig.6A

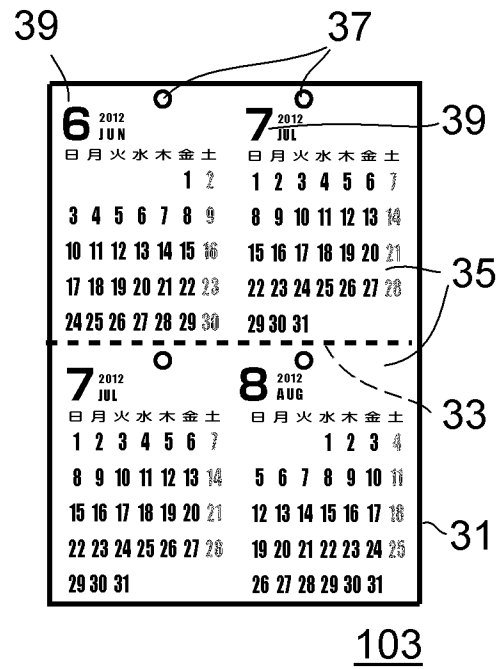


Fig.6B

[図7]

Fig.7A

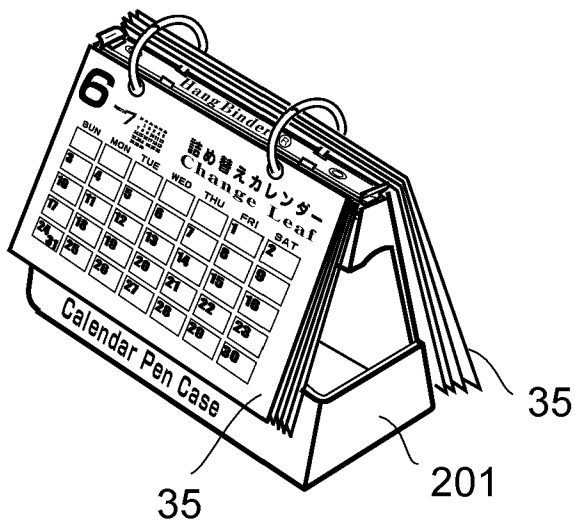
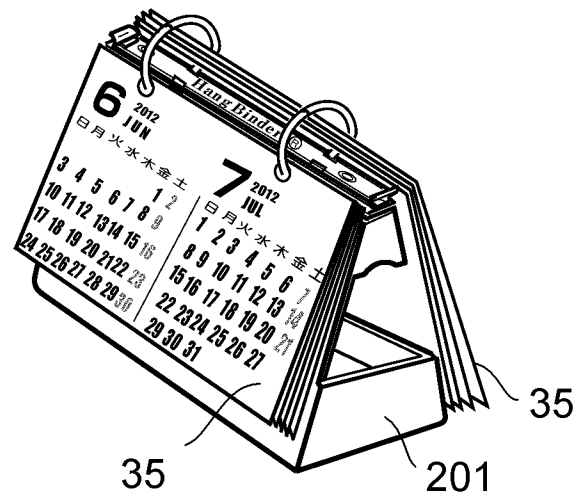
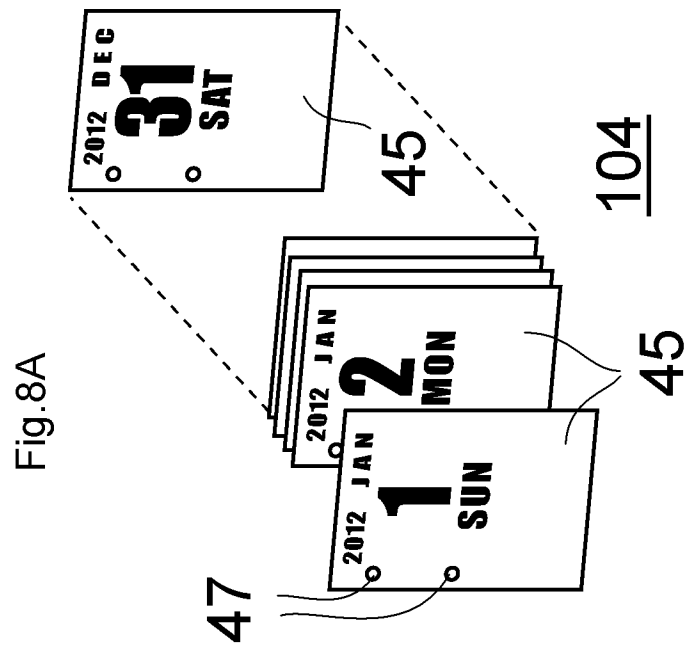
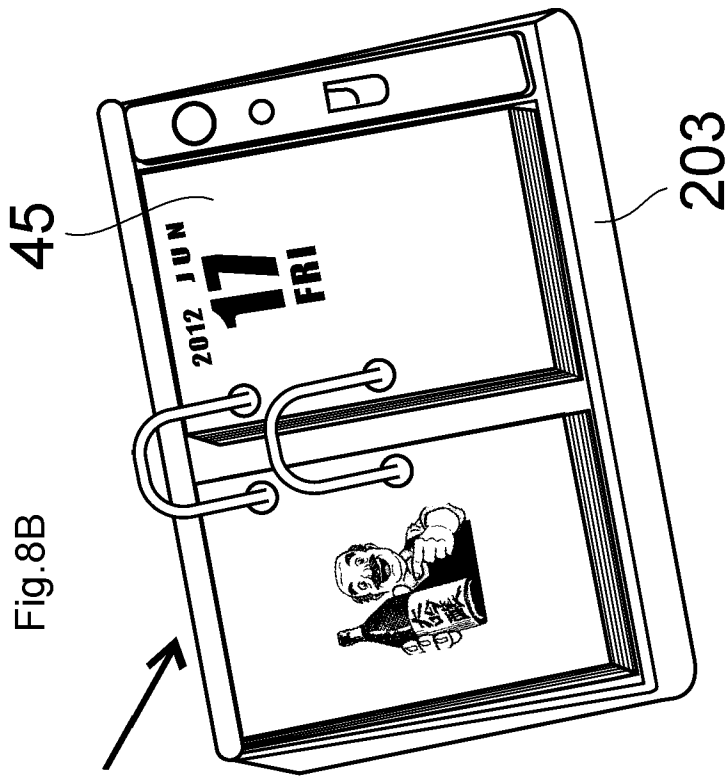


Fig.7B

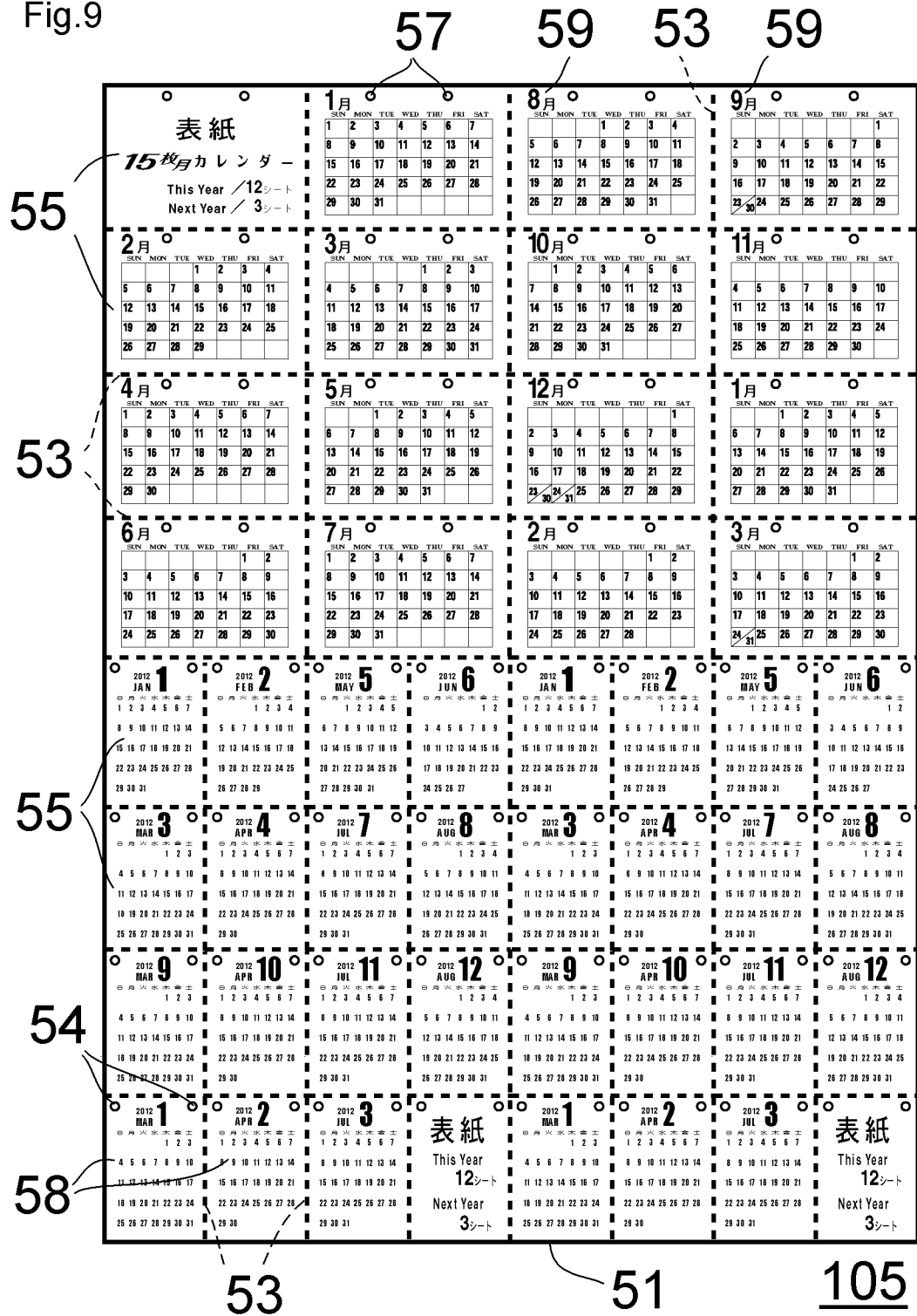


[図8]

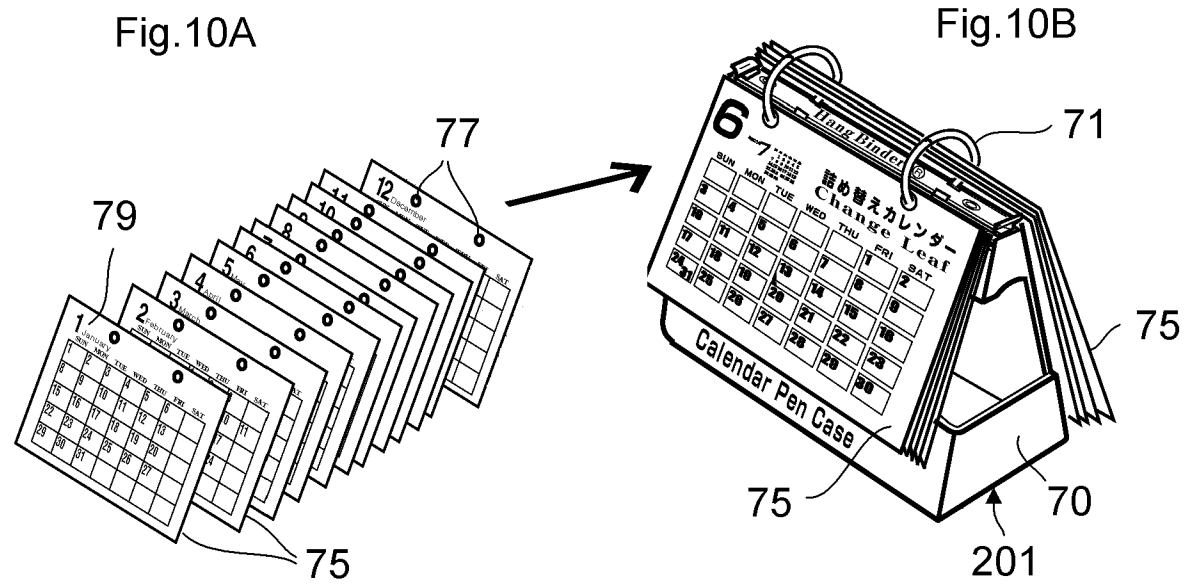


[図9]

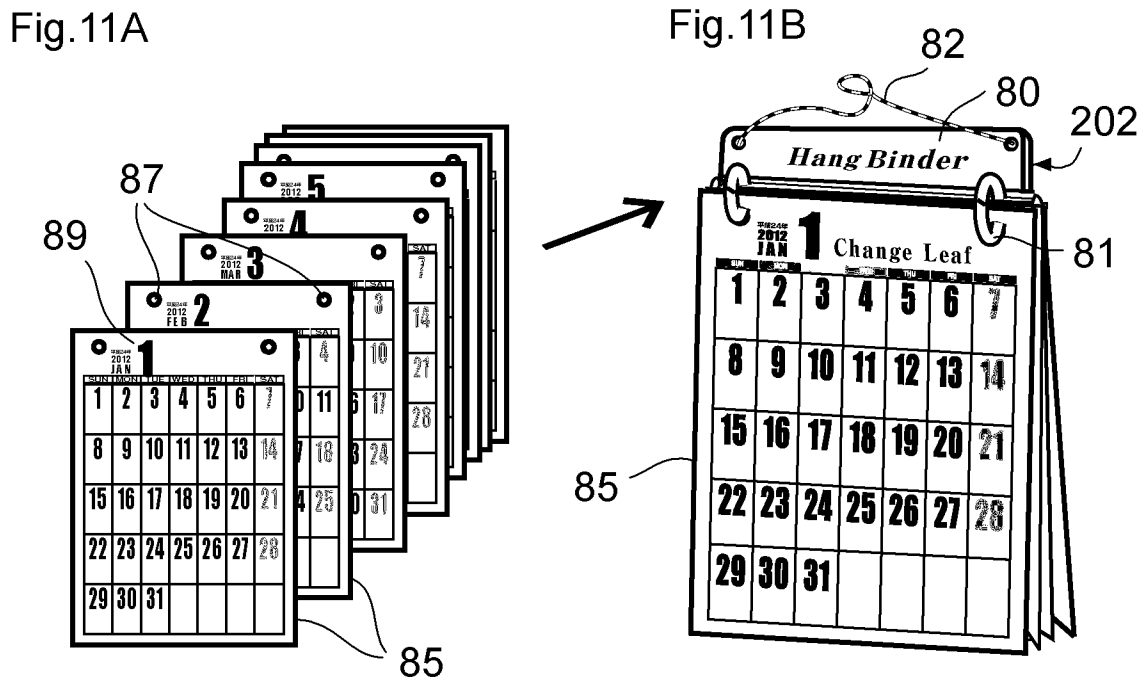
Fig.9



[図10]



[図11]



[図12]

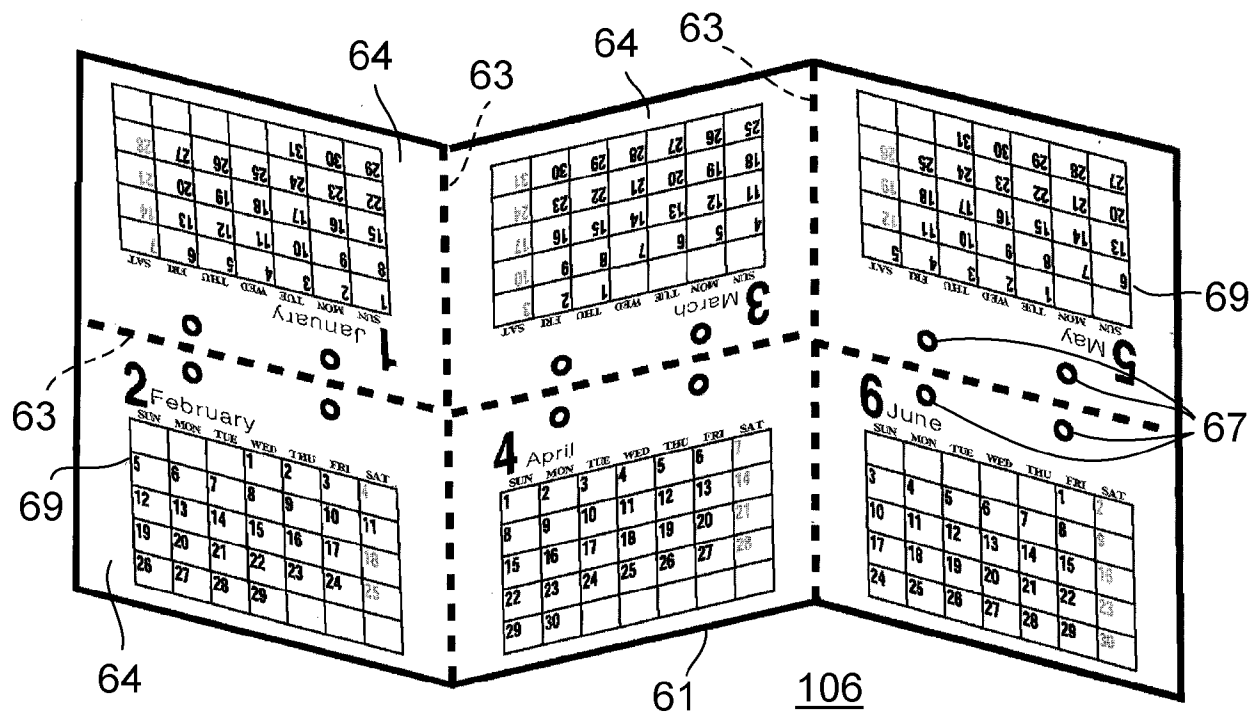


Fig. 12

[図13]

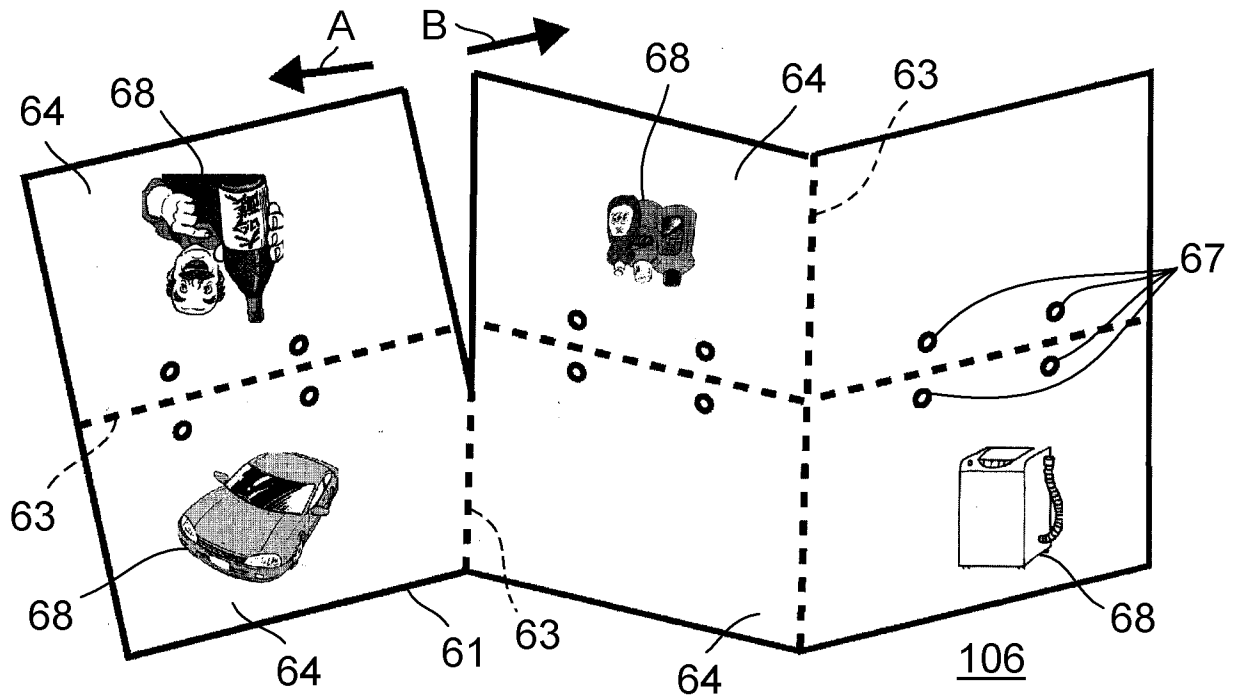


Fig. 13

[図14]

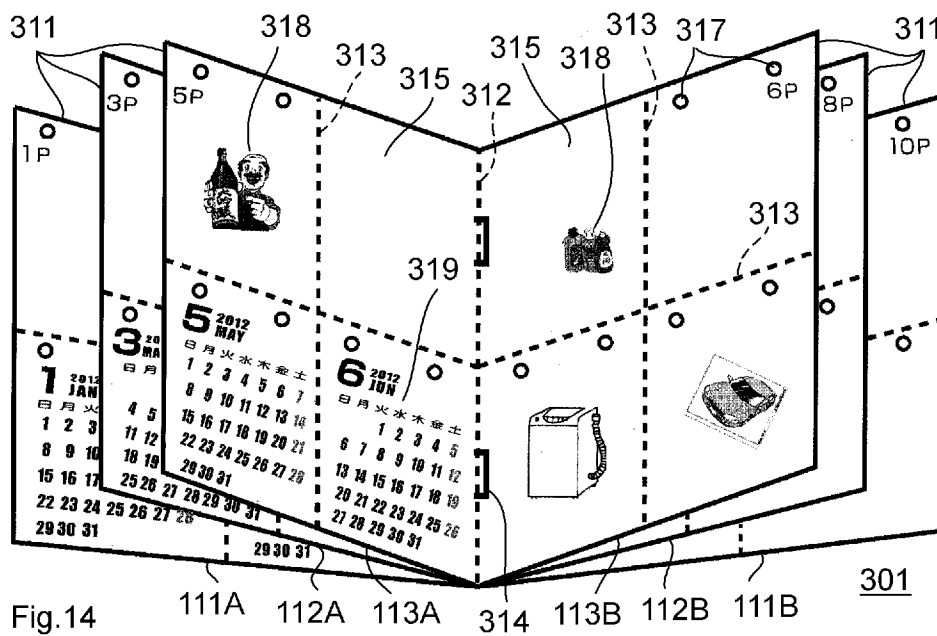
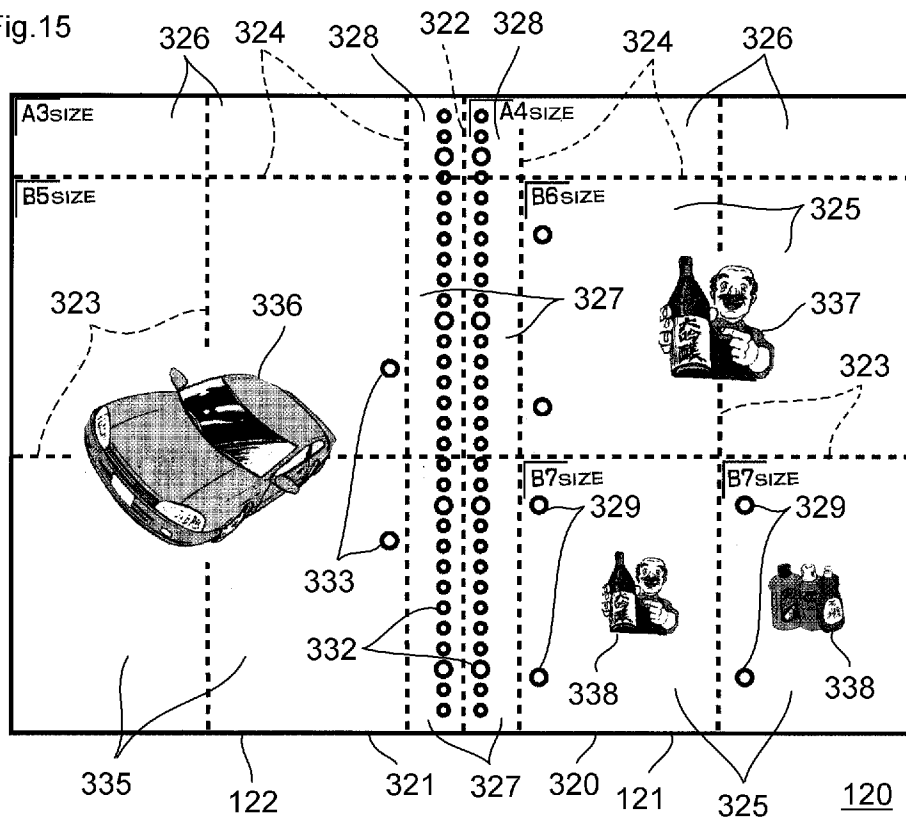


Fig. 14

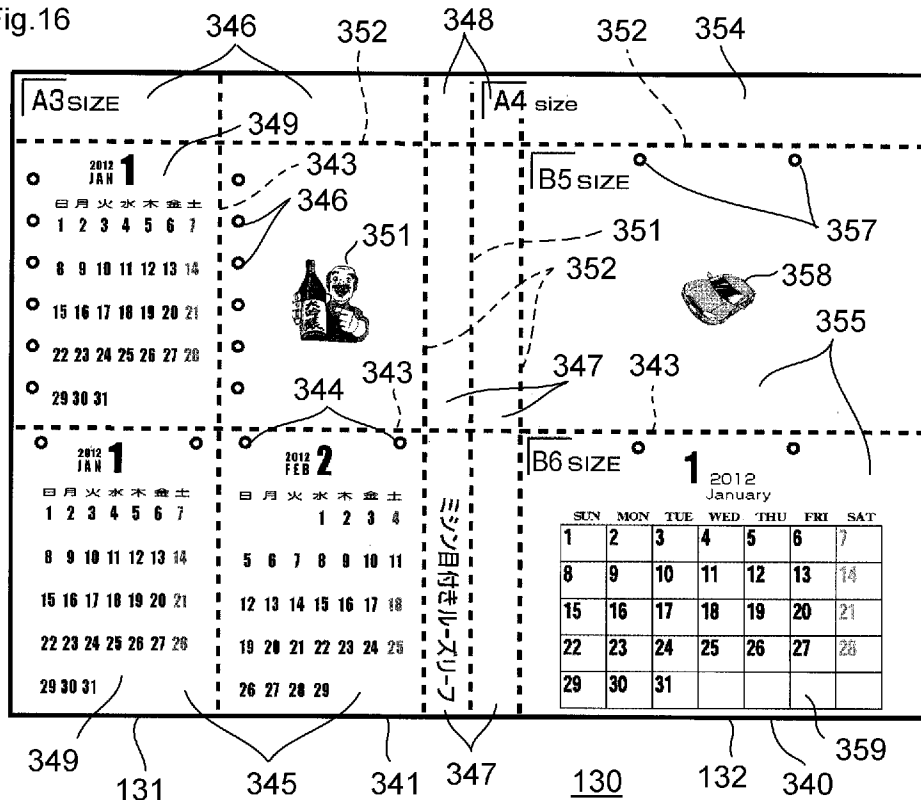
[図15]

Fig. 15



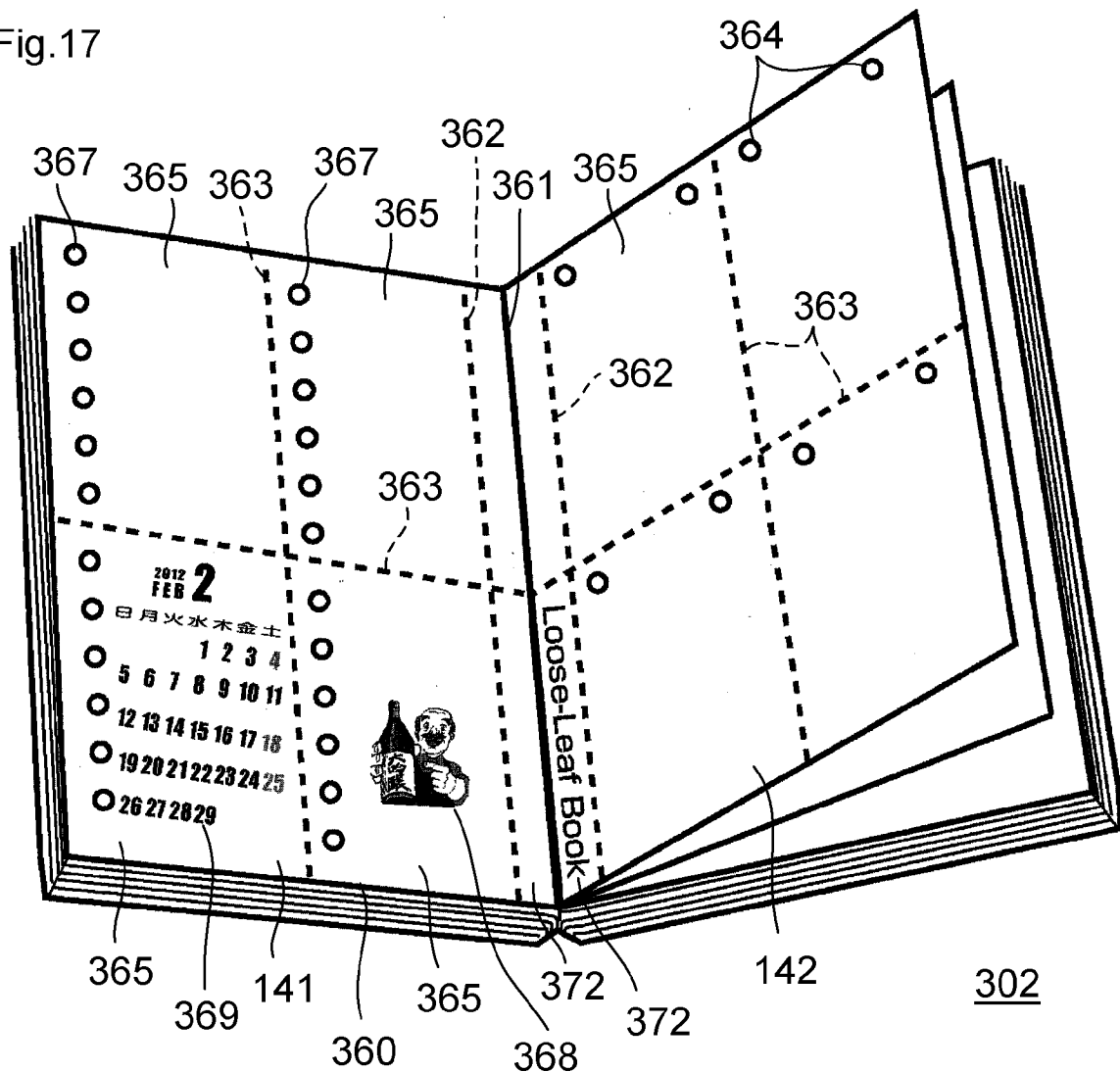
[図16]

Fig.16



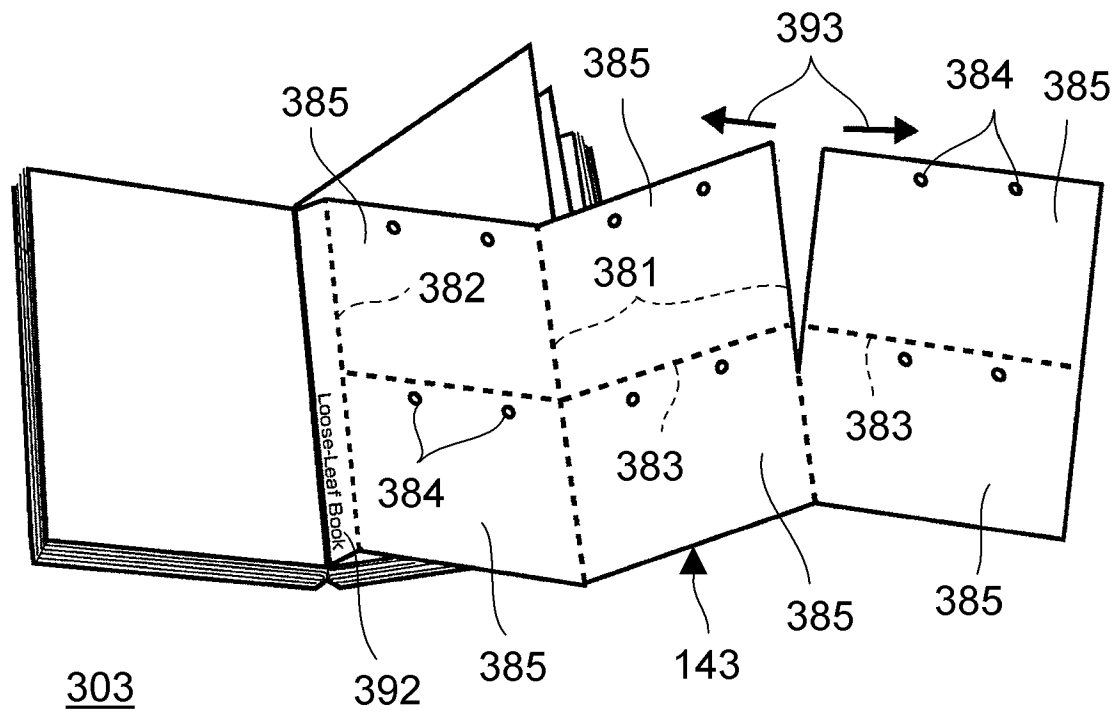
[図17]

Fig.17



[図18]

Fig.18



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/063584

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B42D5/04 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B42D1/00-15/00, B42D15/04-15/08, B42D17/00-19/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2012

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2012 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2012

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	JP 2007-136710 A (Eguchi Shoji Kabushiki Kaisha, Sun Messe Co., Ltd.), 07 June 2007 (07.06.2007), paragraphs [0013] to [0044]; fig. 1 to 4 (Family: none)	13-14 1-12
Y A	JP 3049498 U (Mitsuru OKAMOTO), 09 June 1998 (09.06.1998), abstract; paragraphs [0011] to [0054]; fig. 1 to 11 (Family: none)	13-14 1-12
Y A	JP 2003-276361 A (Toru HIDA), 30 September 2003 (30.09.2003), abstract; paragraphs [0005] to [0006]; fig. 1 to 6 (Family: none)	13-14 1-12



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
24 July, 2012 (24.07.12)Date of mailing of the international search report
11 September, 2012 (11.09.12)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/063584

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	JP 3049845 U (Mitsuru OKAMOTO) , 26 June 1998 (26.06.1998) , abstract; paragraphs [0011] to [0045]; fig. 1 to 8 (Family: none)	13-14 1-12

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. B42D5/04(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. B42D1/00-15/00, B42D15/04-15/08, B42D17/00-19/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 2 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 2 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 2 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	JP 2007-136710 A (江口商事株式会社, サンメッセ株式会社) 2007.06.07, 段落【0013】-【0044】, 図 1-4 (ファミリーなし)	13-14 1-12
Y A	JP 3049498 U (岡元 満) 1998.06.09, 【要約】, 段落【0011】-【0054】, 図 1-11 (ファミリーなし)	13-14 1-12
Y A	JP 2003-276361 A (飛弾透) 2003.09.30, 【要約】, 段落【0005】- 【0006】, 図 1-6 (ファミリーなし)	13-14 1-12

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 4 . 0 7 . 2 0 1 2

国際調査報告の発送日

1 1 . 0 9 . 2 0 1 2

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官 (権限のある職員)

榎 俊秋

2 B

3 8 1 7

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 2 3 7

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	JP 3049845 U (岡元満) 1998. 06. 26, 【要約】, 【0011】 - 【0045】, 図 1-8 (ファミリーなし)	13-14 1-12